

品番 PN26120/PN23249F PN23120K

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3~5ページ)を必ずお読みください。
- 対象機種名・品番一覧は次ページをご覧ください。



収扱説明書は、以下の機	種を対象としています
品名	品番
Switch-M12G	PN26120
Switch-M24HiPWR	PN23249H
Switch-M12X	PN23120K







使用上のご注意
●内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。
●商用電源は必ず本装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。
●この装置の設置・移動する際は、電源コードをはずしてください。
●この装置を清掃する際は、電源コードをはずしてください。
●仕様限界をこえると誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
●この装置をマグネットで取り付ける場合は、ケーブルの重みなどで製品がずれたり落下 したりしないことをご確認ください。また、ケーブルを接続するときは、製品本体を押 さえて接続してください。(Switch-M12Xのみ)
●マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。記録内容 消失のおそれがあります。(Switch-M12Xのみ)
●この装置をOAデスクに取り付けた時、取り付けたまま、ずらさないでください。塗装面 によってはキズがつくおそれがあります。(Switch-M12Xのみ)
●RJ45コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプ ラグやGBIC拡張スロット内部の金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしない でください。静電気により故障の原因となることがあります。
●コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電 するものの上や近辺に放置しないでください。静電気により故障の原因となることがあ ります。
●落下などによる強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
●コンソールポートにコンソールケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製 件器などを触って静電気を除去してください。
●周囲の温度が以下の条件の場所でお使いください。
• Switch-M12G/M24HiPWR 0~40℃
• Switch-M12X 0~50℃
上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因となることがあり、保 証いたしかねますのでご注意ください。

●以下場所での保管・使用はしないでください。

(仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください)

- 一 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所
- ― ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所(カーペットの上など)
- 一 直射日光が当たる場所
- 一 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所
- 一 振動・衝撃が強い場所
- ●本装置の通風□をふさがないでください。内部に熱がこもり誤作動の原因となることがあります。
- ●装置同士を積み重ねる場合は、上下の機器との間隔を2cm以上空けてお使いください。

●GBIC拡張スロットに別売のGBIC拡張モジュール(<u>PN54011/PN54013/PN54015</u>)以 外を実装した場合、動作保証はいたしませんのでご注意ください。 (Switch-M12G/M24HiPWRのみ)

- 1. お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害および本製品の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
- 2. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
- 3. 万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。

※本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

安全上のご注意	1
使用上のご注意	6
目次	8
1. はじめに	11
1.1. 本装置の便利機能	12
1.1.1. WEB ブラウザによる管理機能	12
1.1.2. 障害や統計レポートの電子メール送信	12
1.1.3. トラフィックログ機能	12
2. WEB ブラウザベースの管理	13
2.1. 動作環境	13
2.2. WEB 管理機能へのアクセス	19
2.3. アクティブウィンドウ	21
2.3.1. ポートステータス	21
2.3.2. トラフィックグラフ	24
2.3.3. トラフィックログ	26
2.3.4. 時間設定	28
2.4. メール送信による管理	29
2.4.1. メールの受信環境	29
2.4.2. メールレポート設定	30
2.4.2.1. メールレポートの設定方法	32
2.4.2.2. メールレポートの発行タイミング	32
2.4.3. トラップのメール通知	33
2.4.4. トラフィックレポートのメール通知	34
2.4.4.1. メール添付されたテキストファイル	35
2.4.4.2. メール添付された CSV ファイル	36
2.4.4.3. メール添付されたファイルのファイル名	37
3. 本装置の設定	38
3.1. 基本情報の表示	38
3.2. 基本機能の設定	40
3.2.1. 基本機能の設定	40
3.2.2. IP アドレスの設定	41
3.2.3. SNMP 設定	42
3.2.4. SNMP トラップ設定	43
3.2.5. トラップ送出設定	44
3.2.6. ポート設定	45
3.2.7. アクセス条件設定	47

目次

3.2.8. ユーザ名/パスワード設定	48
3.2.9. MAC アドレステーブルへの追加	49
3.2.10. MAC アドレステーブルの表示(ポート毎)	50
3.2.11. MAC アドレステーブルの表示(アドレス順)	51
3.2.12. MAC アドレステーブルの表示(VLAN 毎)	52
3.2.13. SNTP 設定	53
3.3. 拡張機能の設定	54
3.3.1. VLAN 情報/修正	54
3.3.2. VLAN 修正	55
3.3.3. VLAN 作成	56
3.3.4. VLAN ポート設定	57
3.3.5. Diffserv の設定(クラスの設定)	58
3.3.6. Diffserv の設定(インプロファイルアクションの設定)	60
3.3.7. Diffserv の設定(アウトプロファイルアクションの設定)	62
3.3.8. Diffserv の設定(ノーマッチアクションの設定)	64
3.3.9. Diffserv の設定(ポートリストの設定)	66
3.3.10. Diffserv の設定(ポリシーの設定)	67
3.3.11. Diffserv の設定(ポリシー、シーケンス番号表示)	69
3.3.12. QoS 設定	70
3.3.13. RADIUS 設定	71
3.3.14. 802.1x 設定	72
3.3.15. トランク設定	74
3.3.16. ポートプライオリティ設定	76
3.3.17. ストームコントロール設定	77
3.3.18. ポートモニタリング設定	79
3.3.19. RSTP グローバル設定	80
3.3.20. RSTP パラメータ設定	81
3.3.21. ベーシックポート設定	83
3.3.22. アドバンスポート設定	85
3.3.23. トポロジー情報	88
3.3.24. IGMP Snooping 設定	89
3.3.25. VLAN フィルタ設定	90
3.3.26. ルータポートテーブルの参照	91
3.3.27. PoE ポート設定(M24HiPWR のみ)	92
3.3.28. PoE 条件設定(M24HiPWR のみ)	94
3.4. システム管理ツール	95
3.4.1. ソフトウェアアップグレード	95
3.4.2. 再起動	97

3.4.3. 設定情報の保存	
3.4.4. ポートカウンタの参照	
3.4.5. システムログの参照	
3.4.6. 設定ファイルの保存/読込	
付録 A. 仕様	
付録 B. Windows ハイパーターミナルによる コンソールポート設定手順	
付録 C. IP アドレス簡単設定機能について	
故障かな?と思われたら	
アフターサービスについて	

1. はじめに

このたびは Switch-M12G/M24HiPWR/M12X(以下、本装置といいます)をご購入いただき、まことにありがとうございます。本マニュアルは本装置の機能を使用する際に必要な情報を提供します。

本装置の便利機能には WEB 管理機能および障害や統計レポートのメール送信機能があります。

1.1. 本装置の便利機能

1.1.1. WEB ブラウザによる管理機能

本機能を有効にすることによって、Microsoft Internet Explorer の WEB ブラウザ上からの 設定やビジュアルを用いたモニタ監視を簡単に行うことができます。

1.1.2. 障害や統計レポートの電子メール送信

本装置はメール送信機能(SMTP)を搭載し、障害に関するトラップ情報や本装置配下のセ グメント内のトラフィックの統計レポートをメールの送信によって管理者に通知することが できます。これにより、以下のような利点があります。

- ネットワーク管理者はSNMPマネージャがインストールされていない環境において 障害に関するトラップ情報を受信できます。
- ② ネットワークに関する知識がなくとも本装置配下のセグメント内の定期的なトラフィック量のレポートが管理者に送信されますので、セグメントの大まかな性能管理が容易に行えます。
- ③ トラップ情報をメールで通知することにより、遠隔地から障害発生の把握や障害内 容の管理できます。



図 1-1 メールを利用したネットワーク管理の概念図

1.1.3. トラフィックログ機能

本装置では過去 24 時間のトラフィック情報を常時蓄積しています。これによりネットワー クトラブルの発生時に発生当時の状況把握に利用することができます。

2. WEB ブラウザベースの管理

WEB ブラウザベースの管理機能(以下、WEB 管理機能)により、WEB ブラウザのユーザ インタフェースで本装置の設定や監視をネットワーク上から行うことができます。また、パ ネルの最新の状態を常時表示することができるため、遠隔地からの操作であっても本装置を 実際に見ているような感覚で管理することができます。

2.1. 動作環境

本装置の WEB 管理機能を使用する前にはネットワークの設定を行う必要があります。

1. IP アドレスの設定

コンソール経由で本装置の IP アドレスを設定します。

「Basic Switch Configuration...」→「System IP Configuration」→「Set IP Address」で IP アドレスを設定してください。その際、サブネットマスクがクラス毎 にクラスフルで自動反映されます。また、「Set Default Gateway」でデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定する必要があります。

2. WEB サーバの有効化

本装置の WEB サーバを有効にします。

メインメニューより「Basic Switch Configuration...」→「System Security Configuration」→「Web Server Status」を選択すると、プロンプトが「Enabled or Disabled web server(E/D)」に変わります。ここで「e」と入力し、WEB サーバを 有効にしてください。出荷時は、「disable」になっています。

アクセスする端末には Microsoft Internet Explorer 11.0、および Java Runtime Environment Ver. 1.4 以上(以下、JRE)がインストールされている必要があります。また、 アクセスする端末はネットワーク経由で本装置と通信できる環境である必要があります。

ご注意:プロキシをお使いの場合、アクティブウィンドウを正常に表示できない場合があります ので、プロキシを介さず直接アクセスすることをお勧めします。 ご注意: JREのバージョンによっては、ポートステータスおよびトラフィックグラフの内容が正 しく表示されない場合があります。以下の手順によりJREの「インターネットー時ファ イル」機能を無効にすることで動作が改善する場合があります。

【JRE インターネット一時ファイル 無効手順】

Windows の「コントロールパネル」内の「Java」をクリックし、「Java コントロール・パネル」を開きます。



② 「一般」タブ内の「設定」をクリックします。

 一般 更新 Java セキュリティ 詳細 バージョン情報 Javaコントロール・パネルについてのパージョン情報を表示します。 バージョン情報(B) ネットワーク設定 ネットワーク設定は接続時に使用されます。デフォルトでは、Java(はWebブラウザのネットワーク設定を使用 します。これらの設定を変更できるのは上級ユーザーのみです。 インターネットー・時ファイル Javaアブリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別はフォルダ内に格納されます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。 ジラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照 	🍰 Javaコントロール・パネル	
バージョン情報 Javaコントロール・パネルについてのバージョン情報を表示します。 バージョン情報(B) ネットワーク設定 ネットワーク設定は接続時に使用されます。デフォルトでは、Java(はWebブラウザのネットワーク設定を使用 します。これらの設定を変更できるのは上級ユーザーのみです。 ネットワーク設定(N) インターネットー・時ファイル Javaアブリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別なフォルダ内に格納され ます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。 設定(S) 表示(V) ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照	一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
ハージョンドロール・パネルについてのバージョン情報を表示します。 パージョン情報(B)… ネッドワーク設定 ネッドワーク設定に接続時に使用されます。デフォルトでは、JavaはWebブラウザのネットワーク設定を使用 します。これらの設定を変更できるのは上級ユーザーのみです。 ネットワーク設定(N)… インターネットー時ファイル Javaアブリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別なフォルダ内に格納され ます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。 設定(S)… 表示(V)… ブラウザの Javaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照 OK 取消 適用(A)	12. 22. 2. 小主来日	
Javaコントロール・パネルについてのパージョン情報を表示します。 パージョン情報(B)… ネットワーク設定 ネットワーク設定に接続時に使用されます。デフォルトでは、JavaはWebブラウザのネットワーク設定を使用 します。これらの設定を変更できるのは上級ユーザーのみです。 ネットワーク設定(N)… インターネットー時ファイル Javaアブリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別なフォルダ内に格納され ます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。 設定(S)… 表示(V)… ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照 OK 取消 適用(A)	ハーンヨン1首年版	
バージョン情報(B)… ネットワーク設定は接続時に使用されます。デフォルトでは、JavaはWebブラウザのネットワーク設定を使用 します。これらの設定を変更できるのは上級ユーザーのみです。 インターネットー・時ファイル Javaアプリケーションで使用されたファイルは、次回すはやく実行できるように特別なフォルダ内に格納され ます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。 設定(S)… 表示(V)… ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照	Javaコントロール・パネルについてのバージョン情報を表示します。	
ネットワーク設定 ネットワーク設定は接続時に使用されます。デフォルトでは、JavaはWebブラウザのネットワーク設定を使用 します。これらの設定を変更できるのは上級ユーザーのみです。 ネットワーク設定(N)… インターネットー時ファイル Javaアプリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別なフォルダ内に格納され ます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。 設定(S)… 表示(V)… プラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照 OK 取消 遠用(A)		バージョン情報(<u>B</u>)
ネットワーク設定は接続時に使用されます。デフォルトでは、JavaはWebブラウザのネットワーク設定を使用 します。これらの設定を変更できるのは上級ユーザーのみです。 インターネットー時ファイル Javaアプリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別なフォルダ内に格納され ます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。 設定(S) 表示(V) ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照 OK 取消 適用(A)	ネットワーク設定	
ネットワーク設定(N)… インターネット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ネットワーク設定は接続時に使用されます。デフォルトでは、JavaはWebブラウザの します。これらの設定を変更できるのは上級ユーザーのみです。	ネットワーク設定を使用
インターネットー・時ファイル Javaアブリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別なフォルダ内に格納され ます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。 設定(S)… 表示(V)… ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照 OK 取消 適用(A)	[7	ットワーク設定(N)
Javaアブリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別なフォルダ内に格納されます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。 設定(S)… 表示(V)… ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照 OK 取消 適用(A)	インターネットー・時ファイル	
ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照 OK<取消	Javaアプリケーションで使用されたファイルは、)次回すばやく実行できるように特別が ます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。	3フォルダ内に格納され
ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照 OK 取消 適用(<u>A</u>)		
「セキュリティ」タブを参照 OK 取消 適用(<u>A</u>)	ブラウザのJavaが有効になっています。	
OK 適用(<u>A</u>)	「セキュリティ」タブを参照	
OK 取消 適用(<u>A</u>)		
OK 取消 道用(<u>A</u>)		
OK 道用(<u>A</u>)		
OK 随用(<u>A</u>)		
OK 取消 適用(<u>A</u>)		
OK 適用(<u>A</u>)		
OK 取消 適用(<u>A</u>)		
OK 取消 適用(<u>A</u>)		
OK 取消 適用(<u>A</u>)		
	ОК Ц	101消 適用(A)

③ 「コンピュータに一時ファイルを保持する」のチェックを解除し、OK を押します。

一時ファイルの設定
□ コンピュータに一時ファイルを保持する(K)
場所 一時ファイルを保持する場所を選択してください:
了这些小学生的"这些小学生"的"这些小学生"的"这些小学生"的"这些小学生"的"这些小学生"的"这些小学生"的"这些小学生"的"这些小学生"的"这些小学生"的"这些小学生"的"这些小学生"的"这些小学生"的"这些小学生"的"
ディスク領域 JARファイルの圧縮レベルを選択してください: なし → 一時ファイルを格納するため、ディスク領域を設定します:
0 MB
ファイルの削除(<u>D</u>) デフォルトと戻す(<u>R</u>)
ОК 取消

④ 「OK」を押して設定を確定します。

🛓 Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
ノバー・パート・パーキャー	
	21-2 北主共民(中)
	· 2∃21ij¥IX(<u>D</u>)
「ネットノーク設定は接続時に使用されます。テフォルトでは、JavaはWebノラリザのネッ 」します。これらの設定を変更できるのは上級ユーザーのみです。	ドノーク設定を1史用
۸»۱۰ ۲»۱۰	ワーク設定(N)
ー インターネットー・時ファイル	
 Javaアプリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別なフ	ォルダ内に格納され
ます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。 	
	」 表示(⊻)
ブラウザのJavaが有効になっています。	
「セキュリティ」タブを参照	
	í 適用(<u>A</u>)

ご注意: JRE 7(Ver.1.7)以降ではJREのセキュリティ制限のため、アクセスする端末側への設定 も必要となります。以下の手順により「例外サイト・リスト」の設定を行うことで、ポ ートステータスおよびトラフィックグラフを正常に表示することができます。

【例外サイト・リスト 設定手順】

 " JRE インターネット一時ファイル 無効手順"と同様に「Java コントロール・パネル」を 開き、「セキュリティ」タブ内の「サイト・リストの編集」をクリックします。

	- 0 💌
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
▼ ブラウザで Javaコンテンツを有効にする(E)	
例外サイト・リストにないアプリケーションのセキュリティ・レベル	
◎ 非常に高(⊻)	
証明書が失効していないことを確認できる場合にかぎり、信頼できる認証局の訂 されるJavaアプリケーションのみ実行を許可されます。	明書により識別
◎ 高(出)	
証明書の失効ステータスを確認できない場合でも、信頼できる認証局の証明書 るJavaアプリケーションは実行を許可されます。	まにより識別され
例外サイト・リスト 次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの役 す。	総実行を許可されま
「サイト・リストの編集」をクリックします… アイテムをこのリストに追加します。	・リストの編集(S)
セキュリティ・プロンプトの復元(<u>R</u>) 証	明書の管理(<u>M</u>)…
OK IV:	道用(<u>A</u>)

② 「追加」をクリックし本装置の URL を入力後、Enter を押します。
 例: http://192.168.0.1/

	٢.
次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。	
U., 場所 1 http://192.168.0.1/	
FILEプロトコルおよびHTTPプロトコルは、セキュリティ・リスクと見なされます。 可能な場合はHTTPSサイトを使用することをお薦めします。	
ОК 取消	

③ 「続行」をクリックし、その後「OK」を押します。

セキュリティ警告 - HTTPロケーション	— ×
例外サイト・リストにHTTPロケーションを含めることは、セキュリ ティ・リスクと見なされます	
場所: http://192.168.0.1 HTTPを使用するロケーションにはセキュリティ・リスクがあるため、お使いのコンピュータの個人 険にさらされるおそれがあります。例外サイト・リストにはHTTPSサイトのみを含めることをお意 このロケーションを受け入れる場合は「続行」をクリックし、この変更を中止する場合は「取消 します。 続行	く情報が危 感します。 も」をクリック 取消

④ 「例外サイト・リスト」一覧に設定が反映されていることを確認し、「OK」を押します。

≦ Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
✓ ブラウザでJavaコンテンツを有効にする(E)	
例外サイト・リストにないアプリケーションのセキュリティ・レベル	
◎ 非常に高(⊻)	
証明書が失効していないことを確認できる場合にかぎり、信頼できる認証局の証 されるJavaアプリケーションのみ実行を許可されます。	明書により識別
◎ 高(円)	
証明書の失効ステータスを確認できない場合でも、信頼できる認証局の証明書 るJavaアプリケーションは実行を許可されます。	により識別され
例外サイト・リスト	
次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後す。	に実行を許可されま
http://192.168.0.1/	リストの編集(S)
	20月2日1月(回)…
OK 取消	適用(<u>A</u>)

2.2. WEB 管理機能へのアクセス

WEB 管理機能を利用するには、WEB ブラウザの URL(「場所:」、「アドレス:」など)欄 に本装置の IP アドレスを入力し、「Enter」を押します。すると、**図 2-1** のような本装置のロ グイン画面が表示されますので、ユーザ名とパスワードを入力してください。 出荷時のユーザ名は「manager」、パスワードは、「manager」です。

192.168.1.1 に接続	? 🔀
ユーザー名(<u>U</u>): パスワード(<u>P</u>):	
	OK キャンセル

図 2-1 ログイン画面

- ご注意: ログイン画面が表示されない場合は以下の項目をご確認下さい。
 - (1)本装置のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイのIPアドレスが適切に設定されていますか。
 - (2)WEBブラウザに入力したIPアドレスは本装置のIPアドレスと同じですか。
 - (3)WEBサーバは有効に設定されていますか。
 - (4)アクセスする端末のIPアドレスと本装置のネットワークアドレスが一致しています か。

認証が正しく行われた場合は、図 2-2 のような WEB 管理画面が表示されます。



図 2-2 WEB 管理画面

画面にはいくつかのメニュー項目があり、機能により以下のグループに分類されます。

- アクティブウィンドウ
 本装置のフロントパネルの LED 表示やトラフィックグラフをリアルタイムに表示します。
- ② ネットワークモニタ
 本装置の各ポートの状態やトラフィック量のモニタができます。また、発生したイベントなどのログを表示します。
- ③ 本装置の設定 本装置の IP アドレスなどの設定、SNMP の設定、メール送信の設定などができます。
- ご注意: 運用管理を行うにあたり、まず本装置の設定をしてから各種メニューを使用することをお勧めします。

2.3. アクティブウィンドウ

アクティブウィンドウメニューにより、本装置の LED 状態をビジュアルに表示しますので、 各ポートの使用状態が容易に確認できます。また、トラフィック量をリアルタイムにグラフ 表示しますので、現在のトラフィック量などが容易に把握できます。

2.3.1. ポートステータス

「ポートステータス」を選択すると、図 2-3 になります。

※各ポートの状況に応じた LED 表示(20 秒ごとに更新)により、現在の状態を把握する ことができます。

表示される状態は以下のとおりです。

 $10/100BASE-TX \pi - h(M24HiPWR)$

名称	本体表示
電源供給状態 LED	PoE
リンク/送受信 LED	LINK/ACT.

各 LED の表示内容は下記のとおりです

LED	動作	内容
電源供給 LED	緑点灯	電力供給中
	消灯	電力供給していない、または端末未接続
リンク/送受信 LED	緑点灯	100Mbps でリンクが確立
	橙点灯	10Mbps でリンクが確立
	消灯	端末未接続

10/100BASE-TX ポート(M12X)

名称	本体表示
リンク/送受信 LED	LINK/ACT.
全二重/コリジョン LED	FULL/COL.

各 LED の表示内容は下記のとおりです

LED	動作	内容			
リンク/送受信 LED	緑点灯	100Mbps でリンクが確立			
	橙点灯	10Mbps でリンクが確立			
	消灯	端末未接続			
全二重/コリジョン LED	緑点灯	全二重でリンクが確立			
	橙点灯	半二重でリンクが確立			

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T/GBICポート (M24HiPWR/M12X共通)

名称	本体表示
速度モード LED	GIGA
速度モード LED	100
リンク/送受信 LED	LINK/ACT.

各 LED の表示内容は下記のとおりです

LED	動作	内容
速度モード LED(GIGA)	緑点灯 1Gbps でリンクが確立	
	消灯	10、100Mbps で接続、または端末未接続
速度モード LED(100)	緑点灯	100Mbps でリンクが確立
	消灯	10Mbps で接続、または端末未接続
リンク/送受信 LED	緑点灯	100Mbps でリンクが確立
	消灯	端末未接続

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T/GBIC #- h(M12G)

名称	本体表示
速度モード LED	GIGA.
リンク/送受信 LED	LINK/ACT.
全二重/コリジョン LED	FULL/COL.

各 LED の表示内容は下記のとおりです

LED	動作	内容	
速度モード LED	青点灯	1Gbps でリンクが確立	
	消灯	10、100Mbps で接続、または端末未接続	
リンク/送受信 LED	緑点灯	100Mbps でリンクが確立	
	 橙点灯 10Mbps でリンクが確立 		
	消灯	1Gbps で接続、または端末未接続	
全二重/コリジョン LED	緑点灯	全二重で動作	
	橙点灯	半二重で動作	
	消灯	端末未接続	

表 2-1 ポート LED の表示



図 2-3 Switch-M12G のポートステータスウィンドウ

ご注意: プロキシをお使いの場合、ポートステータスウィンドウを正常に表示できない場合がありますので、プロキシを介せず直接アクセスすることをお勧めします。

2.3.2. トラフィックグラフ

「トラフィックグラフ」を選択すると、図 2-4 のような画面が表示されます。グラフは 10 分前から現在の時刻までのポート毎のトラフィック量を表示します。また、グラフは 20 秒 ごとに更新され 1 つのグラフの目盛りは、5 秒間での平均トラフィックを表します。



図 2-4 トラフィックグラフウィンドウ (フレーム数表示)

図 2-4 内の時刻を正しく表示させるためには本装置に時刻を設定しなければなりません。こ の設定を行うには 2.3.4 項の「時間設定」を参照してください。図 2-4 のウィンドウ内で「帯 域使用率」、「フレーム数」、「コリジョン回数」、「エラー総数」ボタンをクリックすることに より、それぞれのグラフが表示されます。表示されるグラフの項目は以下のとおりです。ま た、各グラフのポート番号の横に表示されている「min」、「avg」、「max」は、本装置が起 動してから現在までの最小値、平均値、最大値を意味します。また、グラフは自動的に更新 されます。

帯域使用率	10M、100M、1000M での帯域の使用率		
有効フレーム数(青色)	本装置が送受信したパケットの内、正常なパケットの平均フレーム 数(5 秒間の平均)		
ブロードキャストフレ ーム数(緑色)	本装置が送受信したパケットの内、 ブロードキャストパケットの平 均フレーム数(5 秒間の平均)		
コリジョン回数	コリジョンの平均回数(5 秒間の平均)		
エラー総数	本装置が送受信したパケットの内、エラーパケットの平均フレーム 数(5 秒間の平均)		
表 2-1 トラフィックグラフ表示項目			

ご注意:プロキシをお使いの場合、トラフィックグラフを正常に表示できない場合がありますので、プロキシを介せず直接アクセスすることをお勧めします。

2.3.3. トラフィックログ

「トラフィックログ」を選択すると、**図 2-5** になります。過去 24 時間の各ポートで 10 分お きにカウントした各種トラフィック量の値を表形式で表示します。これにより、過去 24 時 間におけるトラフィックの傾向を把握することができます。

🗿 Switch-M24PWR Ethernet Switch - Mi	crosoft Intern	et Explorer						. 🗗 🗙
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツ	ール(I) ヘルプ(E	Ð						
😋 戻る - 🐑 - 💌 📓 🏠 🔎 検羽	素 🧙 お気に入り) 😵 ሃቻ ብፖ ,	🕝 🎓 🎍	d ,				
アドレス(1) 🍓 http://192.168.1.1/							🖌 🄁 移動	リンク ※
 □ 基本情報 □ ポートステータス □ トラフィックグラフ 	トラフィック	לחל						
■ トラフィックログ			トラフィックロ	1グ(過去24時間) - ポート 1			
■ メールレホート設定 ■ 時間語定				ポート番号の選択 🔪	*			
■ ■ 基本機能設定	時刻 帯	域使用率(%)	受信フレーム数	ブロードキャスト	マルチキャスト	コリジョン回数	エラー総数	
■ 益張機能設定	11:20	0.0	6778	13	0	0	0	
■ = システム管理ツール	11:10	0.0	2860	10	0	0	0	
■ お問い合わせ先	11:00	0.0	173	52	9	0	0	
	10:50	0.0	504	46	5	0	0	
	10:40	0.0	0	0	0	0	0	
	10:30	0.0	0	0	0	0	0	
	10:20	0.0	0	0	0	0	0	
	10:10	0.0	0	0	0	0	0	
	10:00	0.0	0	0	0	0	0	
	09:50	0.0	0	0	0	0	0	
	09:40	0.0	0	0	0	0	0	
	09:30	0.0	0	0	0	0	0	
	09:20	0.0	0	0	0	0	0	
	09:10	0.0	0	0	0	0	0	
	09:00	0.0	0	0	0	0	0	
	08:50	0.0	0	0	0	0	0	
	08:40	0.0	0	0	0	0	0	
	08:30	0.0	0	0	0	0	0	
	08:20	0.0	0	0	0	0	0	
	08:10	0.0	0	0	0	0	0	
ページが表示されました	00.00		-	^	^		、小の一之~ト	×
■ ハーンが家の下されました							コンダニネット	_

図 2-5 トラフィックログウィンドウ

図 2-5 で表示されるトラフィック量の項目は、以下のとおりです。蓄積したデータ量により、 蓄積時間は短くなることがありますのでご注意ください。

ポート番号の選択	トラフィックログを表示させたいポート番号を選択してください。
帯域使用率(%)	ネットワーク(10/100/1000Mbps)の使用率(10 分間の平均)
フレーム総数	本装置が送受信したパケットの全フレーム数(10 分間)
ブロードキャスト	本装置が送受信したブロードキャストパケットの数(10 分間)
マルチキャスト	本装置が送受信したマルチキャストパケットの数(10 分間)
コリジョン回数	コリジョンの回数(10 分間)
エラー総数	本装置が送受信したパケットの内、エラーパケットの全フレーム数 (10 分間)

表 2-2 トラフィックログ表示項目

2.3.4. 時間設定

時刻設定を選択すると図 2-6 のような画面になります。SNTP サーバを設置されていない場合に、手動による時刻設定を行えます。「時刻設定」ボタンをクリックすることで自動的に PC の時刻を取得し、本装置の時刻を設定します。SNTP サーバが設置されている場合は、 3.1.13.項の SNTP 設定にて設定を行ってください。



図 2-6 時間設定

2.4. メール送信による管理

メール送信機能により、本装置で発生した障害に関するトラップ情報やトラフィック概要を 管理者にメールで通知できますので、トラブルをすばやく検知でき、日々のネットワークの パフォーマンスを容易に把握することができます。



図 3.1 電子メールを利用したネットワーク管理の概念図

2.4.1. メールの受信環境

本装置のメール送信機能を使用する前に、本装置がメールを送信するよう設定を行ってくだ さい。管理者側でメールを受信するためには、メールサーバ(SMTP)に送信用のアカウン トがあることをご確認ください。また、使用する端末のメーラーのインストールおよび設定 が正しくされていなければなりません。

2.4.2. メールレポート設定

「メールレポート設定」を選択すると、**図 2-7** になります。本装置が管理者へ送信するメールに関する設定ができ、メールのレポートに記録されるトラフィック項目の選択ができます。



図 2-7 メールレポート設定ウィンドウ

図 2-7 にて表示される項目は以下のとおりです。設定変更可能な項目については 3 章の「メ ールレポートの設定方法」を参照してください。この機能を使わないときは、「送信先アカウ ント」の欄ですべてのチェックを外してください。

メールサーバ	メールサーバ IP アドレスの設定。
送信先アカウント	本装置からの電子メールを受け取る人(管理者)の電子メールアカウントの設定。最大3つまで設定可能。レポートとトラップを送るかどうかの選択。
送信元アカウント	本装置の電子メールアカウント。使用するメールアカウント名を入力 することができます。 @以降のドメインを入力すると、デフォルト Switch*.*.*、*(IP アドレス) @ドメイン名となります。
レポートの内容	レポートの本文に記載する内容とファイルを添付するかどうかを選 択します。ポート情報、トラフィックサマリ、イベントログの記載と ファイルを添付するかどうかの選択。
レポート間隔/デー タ収集間隔	トラフィックレポートを電子メールで送信する周期とトラフィック データを収集する時間間隔の設定。
添付ファイルの形式	電子メールに添付するトラフィックデータのファイル形式の選択。
ポート選択	どのポートのトラフィックデータを電子メールに添付するかの選択。
ポート選択	どのポートのトラフィックデータを電子メールに添付するかの選択

表 2-3 メールレポート設定ウィンドウ表示項目

2.4.2.1. メールレポートの設定方法

- (1) 図 2-7 の変更したい項目へチェック、または入力欄に設定変更内容をキーボード入力し ます。
- (2)「設定」ボタンをクリックします。内容が更新されます。設定しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。設定した後にメールが設定された送信先アカウントに届くかどうかを確認したい場合は、「設定後、テストメールを送信する」をクリックしてください。
- 2.4.2.2. メールレポートの発行タイミング

メールレポートを「レポート間隔」の設定により、以下のタイミングで発行します。

(1) 本装置に絶対時刻設定がされている場合

毎日:毎日、午前0時に発行します。

- 毎週:毎週、月曜の午前0時に発行します。
- 毎月:毎月、1日の午前0時に発行します。
- (2) 本装置に絶対時刻が設定されていない場合
 - 毎日:本装置の電源投入から24時間ごとに発行します。
 - 毎週:本装置の電源投入から7日ごとに発行します。
 - 毎月:本装置の電源投入から30日ごとに発行します。

レポート間隔、収集間隔、カウンタ選択をデータ収集途中で変更した場合は、それまで収集した レポート用データはクリアされ、新たに収集を開始しますのでご注意ください。この場合でも、 24 時間トラフィックログのデータには影響ありません。

2.4.3. トラップのメール通知

「メールレポートの設定」にて送信先アカウントを設定し「トラップ」にチェックすると、 本装置でトラップが発生したときに図 2-8 のようなメールが管理者に届きます。 図 2-8 は IP アドレス「192.168.1.254」のスイッチに端末がコンソールケーブル経由でロ グインをしたことを通知するトラップメールの例です。トラップをメール通知するためには 3.2.4 項の「SNMP 設定」、3.2.5 項の「SNMP トラップ設定」、3.2.5 項の「トラップ送出 設定」にて SNMP の設定をする必要があります。

🖂 [trap:00	005]loginN	otification	n - Mail/	'News	_ 🗆 ×
<u>F</u> ile <u>E</u> dit	<u>V</u> iew <u>G</u> o	<u>M</u> essage	<u>T</u> ools	<u>H</u> elp	
_ Subject From Date To	<pre>[trap:000 hoge@loca 1900/01/ test@loca</pre>	0 05]loginN alhost 01 0:19 Ihost	lotifica	tion	
01/01 00:1	-[Event 内容 9 ログイン対	容] 端末あり Ri	 S-232C		
IP: 192.16	-[Switch情報 8.1.254	寂]			
現在の状態	見はこちらへ	(<u>http://19</u>) <u>2.168.1</u> .	<u>254</u>)	

図 2-8 メールトラップの例

メール通知内容には対象スイッチの URL も記述されておりますので、それをクリックすると 自動的に WEB ブラウザが起動し、管理ページを開くことができます。

(メーラーが WEB ブラウザと連動している場合に限ります。)

ご注意:ホスト名を設定している場合はURLがホスト名で表示されます。本装置に設定したホスト名がDNSサーバに登録されている必要があります。

2.4.4. トラフィックレポートのメール通知

「メールレポート設定」にてトラフィックレポートをメール送信するよう設定すると、設定 した周期(1日、1週間、1ヶ月)で定期的にトラフィックの統計レポートを受け取ること ができます。これによってネットワークのパフォーマンス管理に役立ちます。 また、トラフィックレポートには詳細な統計データのファイルを添付することができます。 添付されるファイルの形式は「メールレポート設定」で選択し、テキストファイルまたは CSV ファイルのいずれかを選択します。

ime [report:0001]daily(12/27) - Mail/News	
<u>F</u> ile <u>E</u> dit <u>V</u> iew <u>G</u> o <u>M</u> essage <u>T</u> ools <u>H</u> elp	() ()
Subject: [report:0001]daily(12/27) From: switch@mno.co.jp Date: 2007/12/28 0:00 To: test@localhost	
【HUB情報】 HUBネーム:switch ドメイン:mno.co.jp IPアドレス:192.168.1.254 設置場所:	
【レポート期間】 レポート期間 : 12月27日 レポート間隔 : DAILY	
【添付ファイル】 ファイル名 : D188254-1227.txt 対象ポート : 1,2 対象カウンタ: packet,broadcast,multicast,error,collision サンプル間隔: 10minutes	
	25,26
	 -

図 2-9 メールレポートの例

2.4.4.1. メール添付されたテキストファイル

「メールレポート設定」にてトラフィックレポートをメール送信するよう設定すると、設定 した周期(1日、1週間、1ヶ月)で定期的にトラフィックの統計レポートを受け取ること ができます。これによってネットワークのパフォーマンス管理に役立ちます。 また、トラフィックレポートには詳細な統計データのファイルを添付することができます。 添付されるファイルの形式は「メールレポート設定」で選択し、テキストファイルまたは CSV ファイルのいずれかになります。

1 2 3	Q1. // HUB情報↩ [hubname] si [domain] m	witch↔			1							
4567	[address] 1 ← // VLAN設定←	92. 168. 1. 25	54↔ E C 7 0	0 10 11 12	12 14 15	6 17 19 10 9	20 21 22 22 24	25. 26.0				
8 9 10	[ID:0001] U // ポートトラ	ี่ยับ ปี 5ンキング↔	ů ů ú ů			0 0 0 0	U U U U U U U U U U	U U↔				
12 13 14	 // トラフィッ [ポート:01]	ックデータ↩ ↩										
16	date time	rxPacket	rxBroad	rxMulti	collision	error↔						
18 19 20 21 22	12/26 18:29 12/26 18:30 12/26 18:40 12/26 23:59 12/27 00:00	989 10 941 134 47	62 9 80 25 4	5 0 6 0	0 0 0 0	0++ 0++ 0++ 0++						
23 24 25 26	23											
27	date time	rxPacket	rxBroad	rxMulti	collision	error↔						
29 30 31 32 33	12/26 18:29 12/26 18:30 12/26 18:40 12/26 23:59 12/27 00:00	16 0 21 0 0	14 0 14 0	2 0 7 0 0	0 0 0 0	0++ 0++ 0++ 0++						
	[EOF]											

図 2-10 メール添付されたテキストファイル

2.4.4.2. メール添付された CSV ファイル

「メールレポート設定」の「メールに添付されるトラフィックレポートのファイル」として CSV ファイルを選択した場合、本装置が収集したトラフィックデータが CSV 形式でファイ ルに記述されます。

このファイルは一般的な表計算ソフトなどで開くことができ、トラフィックデータをわかり やすいグラフ等に加工することができます。

🛚 Microsoft Excel - D181240-0513														
	ファイル(E) 編	謙(E) 表示	:_) 挿入①	書式(<u>O</u>)	ツール(①) デー	タ回) ウイン	ドウ(型) ヘル	ブ(<u>H</u>)				質問を入力して	ください 🗸	_ 8 ×
	🚔 🔲 🚕 I	6 🚑 🖪	59 X Ba	l 10 + 1 0	Σ - 41	? »	MS Pゴシック	- 11	- B Z	υ ≡ ≡	= 🖬 🛯	8 % ∉≣		4 - »
**-	dia dia 1122 P													- ·
i Ca		☎ ⊻		「×1見単言率の力と	18 <u>0</u> 7 (IXIMI)	米切座し込み	18 I (<u>1</u> 0 +							
_	M1	•	f _x											
	A	B	C	D	E	F	G	Н	I	J	K	L	M	
1	// Start of	command												
2	LSTART													
3	// 山田塘	267 267												
5	[HUB]	ŦIX												
6	[100]	[hubname]	ML2GL3											
7		[domain]	mno co in											
8		[address]												
9	}													
10														
11	// VLAN證	定												
12	[vlan]{													
13		port	1	2	2 3	4	5	6	7	8	9	10	11	
14		[ID:0001]	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U
15		[ID:0002]	T	Т	Т	T	T	T	T	T	Т	T	Т	T
16		[ID:0003]	Т	T	T	T	T	T	T	Т	Т	T	T	T
17		[ID:0004]	T	T	Т	T	Т	Т	T	T	T	T	T	T
18		[[D:0005]	-	-	1	1 T	1	-	-	-	-	-	 	1
19		[[D:0006]	1 T	1 T	- I	1 T	1 T	1 T	1 T	1 T	1 T	1 T	1	1 T
20		[[D:0007]	т	т	T	т	т	т	т	т	т	т	т	T
21		[ID.0006]	T	т	T	т т	T	т Т	т	T	т	T	т	т
22		[[D.00003]	-	-	-	-	-	-	-	т	T	T	-	-
24	}	[[D.0010]								1				
25														
26	ノノ ボートト	ランキング												
27	[Trunking]													
28	}													
29														
30	//トラフィ:	ックデータ												
31	[DATA][
32														
33		[ポート:01	K											
H	▶ ▶ \ <u>D181:</u> '''	240-0613/							•					
コマン	r													

図 2-11 メール添付された CSV ファイル
2.4.4.3. メール添付されたファイルのファイル名

添付ファイルが定期的に複数の本装置から送られてくる場合であってもファイルから送信元 の本装置、レポート種別が識別できるようになっています。

添付ファイルのファイル名フォーマットは

[レポート間隔][本装置の IP アドレス]-[日付].[拡張子] となっています。

- ・レポート間隔: D-日報、 W-週報、 M-月報
- ・本装置の IP アドレス: IP アドレスの下位 2 バイト
- ・日付:レポート開始の日付(または電源投入からの日数)
- ・ 拡張子: CSV、 TXT のファイル 識別
- (例) IP アドレスが 111.222.333.444 の本装置から 6 月 1 日の日報が CSV 添付ファイル として送られてきた場合、ファイル名は

D333444-0601.csv

となります。

また、時刻設定されていない場合は、12日目の日報ファイル名は

D333444-u012.csv

となります。

3. 本装置の設定

設定を終えた後は、必ず3.4.3項の設定情報の保存を行う必要があります。 この保存を行わない場合、それまでに設定した内容は再起動時に消去されます。

3.1. 基本情報の表示

「基本情報」を選択すると図 3-1-1 になります。この画面を選択すると、本装置の情報を見ることができます。この画面は表示のみで設定する項目はありません。



図 3-1-1 基本情報の表示

稼動時間	本装置が起動してからの通算の時間を表示します。		
ブートコード	本装置のソフトウェアのバージョンを表示します。		
バージョン			
ランタイム			
コード			
バージョン			
ハードウェア	ハードウェアの情報	報を表示します。	
情報	バージョン	ハードウェアのバージョンを表示します。	
	DRAM サイズ	実装されている DRAM の容量を表示します。	
	フラッシュの	実装されているフラッシュメモリ の容量を表示します。	
	メモリサイズ		
	コンソールの	コンソールのボーレートの表示をします。	
	ボーレート		
管理者情報	ここで表示される	頁目は 3.2.1 項の「基本機能設定」で設定を行います。	
	ホスト名	設定した本装置の名前を表示します。出荷時には何も設定されてい	
		ません。設定については 3.2.1 項を参照してください。	
	設置場所	設定した本装置の設置場所を表示します。出荷時には何も設定され	
		ていません。設定については 3.2.1 項を参照してください。	
	管理者	設定した連絡先を表示します。出荷時には何も設定されていませ	
		ん。設定については 3.2.1 項を参照してください。	
システム	ここで表示される項目は 3.2.2 章の「IP 設定」で設定を行います。		
アドレス情報	MAC アドレス	本装置の MAC アドレスが表示されます。これは、個々の装置に固	
		有の値で、変更することはできません。	
	IP アドレス	本装置に設定されている IP アドレスを表示します。出荷時には何	
		も設定されていませんので 0.0.0.0 と表示されます。設定について	
		は 3.2.2 項を参照してください。	
	サブネット	本装置に設定されているサブネットマスクを表示します。出荷時に	
	マスク	は何も設定されていませんので 0.0.0.0 と表示されます。設定につ	
		いては 3.2.2 項を参照してください。	
	デフォルト	デフォルトゲートウェイとなるルータのIPアドレスを表示します。	
	ゲートウェイ	出荷時には何も設定されていませんので 0.0.0.0 と表示されます。	
		設定については 3.2.2 項を参照してください。	
	DHCP Mode	IPの取得に DHCP を利用するかどうかの設定を表示します。設定	
		の変更については 3.2.2 項を参照してください。	

3.2. 基本機能の設定

3.2.1. 基本機能の設定

「基本機能の設定」を選択し、「管理情報の設定」を選択すると図 3-2-1 になります。この画面を選択すると、本装置の情報を見ることができます。この画面では機器名称等の管理情報を設定します。

ファイルE 編集E 表示の お死に入り 〇 R5 ・ 〇 - 🖹 😂 🟠 」	8 9-10 1178 0 87 - 10 1178	@ @.2 x.	
PFVAQE (a) http://192.16811./home.asp	and a second		State 1927 *
■ 84500 ■ 4-127-32 ■ 4-127-32 ■ 52942737 ■ 52942737 ■ 52942737 ■ 52942737 ■ 52942737 ■ 52942737 ■ 52942737 ■ 52942737 ■ 648427 ■ 1982 ■ 79428		Switch-M24PWR 13.8.1.4.1.306.1.4.4 高社中町 位下電工用町位8.7F	(60文字以内) (60文字以内) (60文字以内)
(

図 3-2-1 管理情報の設定

表示の説明

詳細説明	システムの説明です。変更できません
オブジェクト ID	MIB の対応する ID を表示します。変更できません。

設定の説明

ホスト名	システム名を表示します。出荷時には何も設定されていません。
設置場所	設置場所を表示します。出荷時には何も設定されていません。設置場所を入力してくだ
	さい。(半角英数字 50 字まで入力可)
管理者	管理者の連絡先を表示します。出荷時には何も設定されていません。
	(半角英数字 50 字まで入力可)

ご注意: SNMPで通知されるメールの送信元アカウントは管理情報設定のホスト名が使用されます。

3.2.2. IP アドレスの設定

「基本機能の設定」を選択し、「IP 設定」を選択すると図 3-2-2 になります。この画面では本 装置の IP アドレスを設定します。

Switch-M24PWR Ethernet Switch つか(A/F) 編集(F) 表示(A) おなに入れ(Hierosoft Internet Explorer A = 5.00 A 5.700		
Ans - O - R B A	Dat Statican	0 0.8 8.0	
7812(0) http://19216811/home.aup		C D G m D	- El tan 920 *
 2012年20日かり2215114.0xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	伊波定 MAC7Fレス P7Fレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ DHCPによる制造	00.C0.8F.0E.95.92 192.569 [05 0 0 0 0 (RE) Dualed W EE RE(F)	K 🛃 146 (1997)
¢	2		
日ベージが表示されました			😴 429-29F

図 3-2-2 IP アドレスの設定

MAC アドレス	本装置の MAC アドレスが表示されます。装置固有の値のため、変更できません。		
設定の説明			
IP アドレス	現在設定されている IP アドレスを表示します。		
	出荷時には何も設定されていませんので 0.0.0.0 と表示されます。		
サブネット	現在設定されて	ているサブネットマスクを表示します。	
マスク	出荷時には何も設定されていませんので 0.0.0.0 と表示されます。		
デフォルト	現在設定されているデフォルトゲートウェイとなるルータのIPアドレスを表示します。		
ゲートウェイ	出荷時には何も設定されていませんので 0.0.0.0 と表示されます。		
DHCPによる	起動時に動的に IP アドレス取得を行う DHCP の設定を表示します。		
割り目で	Enabled	起動時に DHCP サーバに IP アドレス取得の要求を行います。	
	Disabled	起動時に DHCP サーバに IP アドレス取得の要求を行いません。	
		(出荷時)	
DHCP 再取得	IP アドレスを	DHCP サーバから再取得します。	

ご注意: この項目を設定しなければWEB管理機能、メール通知機能、SNMP管理機能、Telnet によるリモート接続は使用できません。必ず設定してください。ネットワーク上の他の 装置のIPアドレスと重複してはいけません。また、この項目には、本装置を利用するサ ブネット上の他の装置と同じサブネットマスクとデフォルトゲートウェイを設定して ください。

3.2.3. SNMP 設定

「基本機能の設定」を選択し、「SNMP 設定」を選択し、さらに「SNMP 設定」を選択すると図 3-2-3 になります。この画面では SNMP マネージャの設定をします。



図 3-2-3 SNMPの設定

表示の説明

エントリ番号 SNMP マネージャのエントリ番号を表示します。(エントリ番号:1-10)
--

設定の説明

状態	SNMP マネージャの状態を選択してください。		
	Enabled	SNMP マネージャが有効であることを表示します。	
		(出荷時はエントリ番号 1-2)	
	Disabled	SNMP マネージャが無効であることを表示します。	
		(出荷時はエントリ番号 3-10)	
アクセス権限	SNMP マネージャのアクセス権限を選択してください。		
	Read-Only	SNMP マネージャのアクセスは、読み取りのみ可能です。	
		(出荷時はエントリ番号 2-10)	
	Read-Write	SNMP マネージャのアクセスは、読み書き可能です。	
		(出荷時はエントリ番号 1)	
IP アドレス	トラップ送信の IP アドレスを入力してください。		
	出荷時には何も設定されていませんので 0.0.0.0 と表示されます。		
コミュニティ名	トラップ送信する場合の現在設定されているコミュニティ名(半角英数 20 字以内)を入		
	カしてください。(出荷時はエントリ番号 1: private、2: public)		

ご注意: この項目を設定しなければメール通知機能のトラップ送出メールは送信されません。また、3.2.7項のアクセス条件設定でSNMPマネージャからのアクセスを有効にする必要があります。

3.2.4. SNMP トラップ設定

「基本機能の設定」を選択し、「SNMP 設定」を選択し、さらに「SNMP トラップ設定」を 選択すると図 3-2-4 になります。この画面では SNMP トラップの設定をします。



図 3-2-4 SNMP トラップの設定

表示の説明

エントリ番号	トラップの送信先のエントリ番号を表示します。(エントリ番号:1-10)
--------	-------------------------------------

設定の説明

状態	トラップの送信状態を選択してください。	
	Enabled	トラップ送信が有効です。
	Disabled	トラップ送信が無効です。 (出荷時)
タイプ	トラップのタイプ(v1/v2)を選択してください。	
	v1	SNMP v1 トラップを送信します。 (出荷時)
	v2	SNMP v2 トラップを送信します。
IP アドレス	トラップ送信先の IP アドレスを入力してください。	
コミュニティ名	トラップ送信する場合の現在設定されているコミュニティ名(20 字以内)を入力してく	
	ださい。(出荷時はエントリ番号 1 : private 2: public)	

ご注意: この項目を設定しなければメール通知機能のトラップ送出メールは送信されません。 また、3.2.7項のアクセス条件設定でSNMPマネージャからのアクセスを有効にする必 要があります。

3.2.5. トラップ送出設定

「基本機能の設定」を選択し、「SNMP 設定」を選択し、さらに「トラップ送出設定」を選 択すると図 3-2-5 になります。この画面ではトラップ送出の際の動作設定を行います。



図 3-2-5 トラップ送出設定

設定の説明

不正コミュニテ	不正コミュニティ名によるアクセスがあった時のトラップ送出の設定を行います。		
ィ名によるアク	リンクがダウンした場合、トラップを送出します。		
セスがあった時	Enabled	トラップを送ることが可能です。	
	Disabled	トラップを送ることができません。 (出荷時)	
リンクアップ/ダ	リンク状態が変更された時、トラップ送出する対象のポートを表示します。		
ウンが発生した	対象ポートを入力し、設定ボタンをクリックしてください。(出荷時:全ポート)		
時			
PoE トラップ	PoE トラップの設定を表示します。		
(M24HiPWR	設定された供給電力のしきい値を超えた場合にトラップが送出されます。		
のみ)	Enabled	PoE トラップを送出します。	
	Disabled	PoE トラップを送出しません。 (出荷時)	

ご注意: この項目を有効にすると、トラップ(不正コミュニティ名によるアクセス時、リンクア ップ/ダウン発生時および設定された供給電力のしきい値超過時)の発生時にメール通知 機能によってトラップが送出されます。 また、3.2.7項のアクセス条件設定でSNMPマネージャからのアクセスを有効にする必 要があります。

3.2.6. ポート設定

「基本機能の設定」を選択し、「ポート設定」を選択すると図 3-2-6 になります。この画面では各ポート状態の表示及びモード等の設定を行います。

		00.000	00.	-			
	MAR X SAULAS	8.3747	6 B.	∋ ⊠ · 🟳			
The second	12						M BY then
「ポートステータス	ポート設定	5					
■トラフィックグラフ							
157(9クログ	ホート留考 1 2	3451		11121314151617	1819202122	23 24 25 26	7 37 1 27
NUMBER OF THE R							tian Lat
		有効解効		通信モード		TO-NO	
管理情報設定	En En	eled 💌	0	Auto M			
IPIRE SNMDER							
SNMPBE							
SNMPトラップ設定	水一下翻号	トランク	水一ト種別	术	リンク状態	通信モード	フロー制油
トラップ連出議定	1	***	100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
アクセス条件設定	2		100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
コーザ名/パスワード設定	3	-	100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
■ <u></u> フォワーディング	4		100TX	Enabled	Up	Auto (100F)	Disabled
NUMBER	5		100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
- システム管理ツール	6		100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
□お用い合わせ先	7		100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
	8		100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
	9	-	100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
	10	-	100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
	11		100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
	12	-	100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
	13		100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled
	14	-	100TX	Enabled	Down	Auto	Disabled

図 3-2-6 ポート設定

表示の説明

ポート番号	ポート番号を表します。		
トランク	トランキングの設定状態をグループ番号で表示します。		
ポート種別	ポートの種類を表します。		
	100TX	10/100BASE-TX を表します。	
	1000T	1000BASE-T を表します。	
ポート有効/	現在のポートの物	犬態を表します。	
無効	Enabled	ポートが使用可能です。(出荷時)	
	Disabled	ポートが使用不可です。	
リンク状態	現在のリンクの物	犬態を表します。	
	Up	リンクが正常に確立した状態を表します。	
	Down	リンクが確立していない状態を表します。	
通信モード	通信速度、全/半	二重の設定状態を表します。	
	Auto	オートネゴシエーションモード(出荷時)	
	(1000F)	1Gbps 全二重	
	100-FDx	100Mbps 全二重	
	(100F)		
	100-HDx	100Mbps 半二重	
	(100H)		
	10-FDx(10F)	10Mbps全二重	
	10-HDx(10H)	10Mbps半二重	
フローコン	フローコントロ-	ールの設定状態を表します。	
トロール	Enabled	フローコントロールが有効です。	
	Disabled	フローコントロールが無効です。(出荷時)	

ポート番号	設定するポート番号を選択してください。		
ポート有効/無効	ポートの状態を設定します。		
	Enabled	ポートが有効です。 (出荷時)	
	Disabled	ポートが無効です。	
通信モード	通信モードを設定し	します。	
	Auto	オートネゴシエーションモード(出荷時)	
	100-FDx(100F)	100Mbps 全二重で接続します。	
	100-HDx(100H)	100Mbps 半二重で接続します。	
	10-FDx(10F)	10Mbps 全二重で接続します。	
	10-HDx(10H)	10Mbps 半二重で接続します。	
フロー	フローコントローノ	レの状態を設定します。	
コントロール	Enabled	フローコントロールの状態を有効にします。	
	Disabled	フローコントロールの状態を無効にします。 (出荷時)	

3.2.7. アクセス条件設定

「基本機能の設定」を選択し、「アクセス条件設定」を選択すると図 3-2-7 になります。この 画面では SNMP、WEB 等のアクセスに関する設定を行います。

Switch-M24PWR Ethernet Switch	Hicrosoft Internet Explorer		
		0.8	*
7F12/0/ @http://19216811/home.sop	Caw Manny Q. 2141 6	0.9 N.	- E3 846 95-0 *
 参本価値 ボートステータス トラフィックグラフ トラフィックグログ メールレポート設定 時間設定 	アクセス条件設定 コンソール接続タイムアウト Tehee接続タイムアウト	 8 分 (0-60 0=タイムアウト無レ) 8 分 (1-60) 	
 ● 本本電波法: ● 世界地震学会 ● 日間定 ● SNMP協定 ● SNMP協定 ● SNMP与アリ設定 ● トラップ度出議定 ■ オート度定出議定 ■ アクセス条件成定 □ ユーザダン/12(ワード協定) 	Tenetサーバー SNMPマネージャー Webサーバー	Inded w Inded y Inded W BB	
 フォワーディング SNTP設定 単純単単次定 システム装得つール お用い合わせえ 			
C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	3		a (^.)−2ak

図 3-2-7 アクセス条件設定

コンソール接続	コンソールで接続しているときに、何も入力がなかった場合のセッションが切れるまで			
タイムアウト	の時間を分単位	の時間を分単位で表示します。出荷時は5分に設定されています。		
Telnet 接続タイ	Telnet でリモ	ート接続しているときに、何も入力がなかった場合、セッションが切れ		
ムアウト	るまでの時間を	を分単位で表示します。出荷時は 5 分に設定されています。		
Telnet サーバ	Telnet サーバ	へのアクセス許可の設定をします。		
	Enabled	Telnet サーバへのリモートアクセスが有効です。 (出荷時)		
	Disabled	Telnet サーバへのリモートアクセスが無効です。		
SNMP	SNMP マネージャのアクセス許可の設定をします。			
マネージャ	Enabled	SNMP マネージャのアクセスが有効です。		
	Disabled	SNMP マネージャのアクセスが無効です。 (出荷時)		
WEB サーバ	WEB サーバのアクセス許可の設定をします。			
	Enabled	WEB サーバへのアクセスが有効です。		
	Disabled	WEB サーバへのアクセスが無効です。 (出荷時)		

ご注意: WEB管理機能にて設定を行う場合は、まずはじめにコンソールメニューから「b」、「s」、「w」を順に入力し、「Enabled or Disabled web server(E/D)」と表示された後に「e」 と入力してWEBサーバのアクセスを有効にしてください。

3.2.8. ユーザ名/パスワード設定

「基本機能の設定」を選択し、「ユーザ名/パスワード設定」を選択すると図 3-2-8 になります。この画面ではユーザ名/パスワードの設定を行います。

Switch-M24PWR Ethernet Switch	- Nicrosoft Internet Explorer		
THING WE BETO BUCKS	8 9-60 A6709		4
78120 @http://19216811/home.asp	CAR X BARTYO C. 3245. 6	9 18 · @ 18 · 🗖	- 63 840 959 *
 本: 5 知時 ホーンスッークス トンフィックグラク トンス・クリクジ ナン・ムレボート設定 ・ 4 周辺県 ・ 4 周辺県 ・ 5 外の時間定 ・ 5 外の時間に ・ 5 外の時間に	ユーザ名ノバスワード 現在のユーザ名 現在のパスワード 輸入・ユーザ名 輸入・マスワード 輸入・マスワード(購入力):	② 定 ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
CLARKODOLENDO			129-791

図 3-2-8 ユーザ名/パスワード設定

設定の説明

現在のユーザ名	現在設定されているユーザ名を入力してください。(出荷時:manager)
現在の	現在設定されているパスワードを入力してください。 (出荷時:manager)
パスワード	
新しいユーザ名	新しいユーザ名を入力してください。
新しい	新しいパスワードを入力してください。
パスワード	
新しい	確認のため再度新しいパスワードを入力してください。
パスワード	
(再入力)	

ご注意:変更したユーザ名およびパスワードは忘れないようにしてください。 コンソール、Telnet、WEB全てにおいてログインする際に必要となります。

3.2.9. MAC アドレステーブルへの追加

「基本機能の設定」を選択し、「フォワーディング」を選択し、さらに「MAC アドレステー ブルへの追加」を選択すると図 3-2-9 になります。この画面ではフォワーディングデータベ ースへ静的に MAC アドレスの登録を行います。



図 3-2-9 MAC アドレステーブルへの追加

表示の説明

ポート番号	静的に追加された MAC アドレスのポートを表示します。
VLAN ID	静的に追加された MAC アドレスの VLAN ID を表示します。
MAC アドレス	静的に追加された MAC アドレスを表示します。

ポート(追加)	静的に追加する MAC アドレスのポートを選択してください。
VLAN ID(追加)	ポート(追加)選択後、静的に追加する MAC アドレスの VLAN ID を入力してください。
MAC アドレス	ポート選択(追加)、VLAN ID(追加)入力後、静的に追加する MAC アドレスを入力し、
(追加)	設定ボタンをクリックしてください。
VLAN ID(削除)	削除する MAC アドレスの VLAN ID を入力してください。
MAC アドレス	VLAN ID(削除)入力後、削除する MAC アドレスを入力し、設定ボタンをクリックして
(追加)	ください。
次ページ	次ページボタンをクリックすると、次ページに移ります。
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。

3.2.10. MAC アドレステーブルの表示(ポート毎)

「基本機能の設定」を選択し、「フォワーディング」を選択し、さらに「MAC アドレステー ブルの表示(ポート毎)」を選択すると図 **3-2-10** になります。この画面ではフォワーディング データベースからポート毎の MAC アドレスの表示を行います。



図 3-2-10 MAC アドレステーブルの表示(ポート毎)

表示の説明

ポート番号	MAC アドレステーブルにある MAC アドレスのポート番号を表示します。
MAC アドレス	ポートにある MAC アドレスを表示します

エージング	MAC アドレステーブルに MAC アドレスを保持する時間(エージングタイム)を入力し
タイム	てください。(出荷時:300 秒)
ポート選択	表示させたいポートを選択してください。
次ページ	次ページボタンをクリックすると、次ページに移ります。
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。

3.2.11. MAC アドレステーブルの表示(アドレス順)

「基本機能の設定」を選択し、「フォワーディング」を選択し、さらに「MAC アドレステー ブルの表示(アドレス順)」を選択すると**図 3-2-11** になります。この画面ではフォワーディン グデータベースからアドレス順の MAC アドレスの表示を行います。

Switch-M24PWR Ethernet Switch -	Norosoff Internet Explorer	
Ans - 0 - 1 0 0 00 0	1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 +	-
7FL2/Q http://19216811/home.asp		- El 840 . 12.0 *
あよ後期 ボートステータス トラフィッググラフ トラフィッググラブ フィックグラブ メールペート設定 特徴設定	MACアドレステーブル表示(アドレス順) エージングタイム 2000 秒 (10-1000000) 接近 ポート開発 MACTED ス	
	15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	
 ・ ・ ・	15	[½<-9] ■<-9]
<		● C /2−2+3+

図 3-2-11 MAC アドレステーブルの表示(アドレス順)

表示の説明

ポート番号	MAC アドレステーブルにある MAC アドレスのポート番号を表示します。
MAC アドレス	ポートにある MAC アドレスを MAC アドレス順で表示します

エージング	MAC アドレステーブルに MAC アドレスを保持する時間(エージングタイム)を入力し
タイム	てください。(出荷時:300 秒)
次ページ	次ページボタンをクリックすると、次ページに移ります。
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。

3.2.12. MAC アドレステーブルの表示(VLAN 毎)

「基本機能の設定」を選択し、「フォワーディング」を選択し、さらに「MAC アドレステー ブルの表示(VLAN 毎)」を選択すると図 **3-2-12** になります。この画面ではフォワーディング データベースから VLAN 毎の MAC アドレスの表示を行います。

2m(100) 編集(2) 表示(0) お気に入り(4	Piscosoft Internet Explorer 2~8(D) A&200	
Om · O · R @ 6	HE + BECAN # 1747 (A)	
1142.00 http://19216811./home.app	And dry O D G a	CI 540 12.0 *
 参本価層 ボートステータス トラフィックグラフ トラフィックグリブ メールレボート設定 4回聴設定 	MACアドレステーブル表示(VLAN毎) エージングタイム:200 秒 (10-100000) VLAN D選択 1 (1-4094) 歴史	Br.
 ● 学者編集改正 ● 学者編集改正 ● 学者編集改正 ● 学者編集改正 ● SANP安定 ● ボール設定 ● アクセンスA+収定 □ アクセンスA+収定 □ アク・アンジ ● ALCアトンスラーンスA=バイ ● MACアドレスラーンスA=バイ ● MACPドレスラーンスA=バイ ● MACPドレスラーンスA=バイ ● KW電量設定 ■ KW電量定定 ■ KW電量定定 	H-HBB MAC7FL2 15 00010256A2A8 15 0001000000000000000000000000000000000	(AK-9) (BK-9)
s		🔹 128-29F

表示の説明

ポート番号	MAC アドレステーブルにある MAC アドレスのポート番号を表示します。
MAC アドレス	選択した VLAN に所属した MAC アドレスを表示します

エージング	MAC アドレステーブルに MAC アドレスを保持する時間(エージングタイム)を入力し
タイム	てください。(出荷時:300 秒)
VLAN ID 選択	MAC アドレスを表示させたい VLAN ID を選択してください。
次ページ	次ページボタンをクリックすると、次ページに移ります。
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。

3.2.13. SNTP 設定

「基本機能の設定」を選択し、「SNTP の設定」を選択すると図 3-2-13 になります。この画面では本装置の時刻設定を行うための SNTP サーバ設定を行います。

ファイル(1) 編集(1) 表示(1) お気に入り	\$ 7-NO 1.176		
G #8 · C) · N 2 6	◎検索 👷 お死に入り 🔮メ	ta 🙆 🎯 🎭 🔯 · 🗾	
71%2.200 anttp://19216811/home.asp			😿 🔁 646 - 950 *
	SNTP設定 時刻(0時:分:粉): 日行(年月月日): SNTPサーイ(P SNTP支援問題 タイムゾーン: 夏時間の適用:	00.59:17 19000101 Thursday 00000 1440分(1-1440) 低料T-09000 Oatha Septre. Telyo NA	v
() ページが表示されました			▲ 1>2-201

図 3-2-13 本装置の時刻設定

表示の説明

時刻(時:分:秒)	現在本装置に設定されている時刻(時:分:秒)を表示します。デフォルトでは起動からの
	経過時間が表示されます。
日付(年:月:日)	現在本装置に設定されている日付(年:月:日)と曜日を表示します。デフォルトでは
	1900/01/01 Thursday からの経過日数が表示されます。

設定の説明

SNTP サーバ IP	時刻同期を行う SNTP サーバの IP アドレスを入力してください。
SNTP 更新間隔	SNTP サーバとの時刻同期間隔を入力してください。
	(出荷時:1440 分=24 時間)
タイムゾーン	タイムゾーンを選択してください。
	(出荷時:(GMT+09:00) Osaka,Sapporo,Tokyo)

ご注意: SNTPサーバがファイアウォールの外部にある場合、システム管理者の設定によっては SNTPサーバと接続できない場合があります。詳しくはシステム管理者にお問い合わせ ください。 SNTP機能を無効にしたい場合は、SNTPサーバIPを0.0.0.0に設定してください。

3.3. 拡張機能の設定

3.3.1. VLAN 情報/修正

「拡張機能の設定」を選択し、「VLAN 設定」を選択し、「VLAN 情報/修正」を選択すると図 3-3-1 になります。この画面では設定された VLAN の参照を行います。

ファイル(0) 編集(0) 表示(0) お旅に入り	(A) 7~6(D) A5700	Explorer			
	O HE ALLERICIO	0 a a a			
	Daw Mexervo	9.ma 6 2. 3	1 M .		
7FV3 (1) http://19216811./home.asp					▼ ● 移動 92.9
- 基本编辑					
■ <i>#</i> −+ステータス	VLAN IN THE ME	Ш.			
1+57492957	and the second second				
- FSJ499LB	VLAN欧:4				
NAMES IN	VLANID	VLAN2	VLANタイプ	マネジメントVLAN	
- 基本權能設定	1		Permanent	<u>UP</u>	<u>用王</u>
	2	営業	Static	DOWN	施正/前续
- VLANIRE	3	8圣理	Static	DOWN	銀正/削強
VLANSIN/ISE		技術	Static	DOWN	<u>程正/新課</u>
Conservate QeSSE QeSSE Port Security P>2250年 Apt-ムコンドローム地震 ホートモークリンガ度 PeSTPEま PeSTPEま PeSTPEま PeSTPEま PeSTPEま PeSTPEま PeSTPEま Apt-Addetケール Apt-Addetケール					
 ■ IGMP Snooping設定 ■ PoE設定 ■ システム管理ケール ■ お問い合わせ先 					

図 3-3-1 VLAN 情報/修正

表示の説明

VLAN ID	3.3.2 項の VLAN で作成された VLAN ID を表示します。		
VLAN 名	3.3.2 項の VLAN で作成された VLAN 名を表示します。		
VLAN タイプ	VLAN の種類を表示します。		
	Permanent	初期設定の VLAN を表します。この VLAN を削除することはできませ	
		h_{\circ}	
		(出荷時:VLAN ID 1)	
	Static	新たに作成された VLAN であることを表します。	
マネジメント	VLAN が管理 VLAN であるかを表示します。		
VLAN	UP	マネジメント VLAN(CPU と通信可能な VLAN)であることを示します。	
		マネジメント VLAN は最低 1 つ UP にする必要があります。	
	Down	マネジメント VLAN ではないことを表します。	

修正/削除	設定された VLAN の修正/削除を行います。	
	修正	次ページに説明しております。
	削除	設定された VLAN を削除します。削除をクリックすると「VLANxx を
		削除しますか?」という表示されますので、削除する場合は「はい」を、
		削除しない場合は「キャンセル」をクリックしてください。
次ページ	次ページボタン	ンをクリックすると、次ページに移ります。
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。	

3.3.2. VLAN 修正

「拡張機能の設定」を選択し、「VLAN 設定」を選択し、「VLAN 情報/修正」を選択し、さらに「VLAN 修正」を選択すると図 3-3-1-1 になります。この画面では設定された VLAN の修正を行います。

7かイル(1) 編集(1) 表示(1) お気に入	5(B) 7-10 ANT	69																						-		2
🔾 🗷 • 💭 · 🖹 🖹 🐔		0	8	(Fe)		3	8	• 1	5	12																
71922 3 10000000000000000000000000000000000																						-	3 8	40	958	•
■ 基本価額 ■ ポートステータス	VLAN修 司	-																								
15749205	M ANUE																									
□ メールレポート設定	VLANS	8	×						(3	妏	郭	汭)													
- 基本機能設定																										
1 . 紅張羅龍說堂	ボート番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	15
- VLANDER	メノハーホート	Ģ	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Ð
VLANTUS	STAL NH		-	-		0	0	~		~			~		~		~	~	~	~		0	~	~	~	
VLANK-FBR	3.57 (-510)-	r c	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	•	0	•	0	•	0	0	•	2
DiffServige																						1	101		年刊	セ
Port Security																										
「トランク設定																										
ストームコントロール設定																										
■ ポートモニタリング設定																										
RSTPRE																										
· PoFilia																										
● □ システム管理ツール																										
こと問い合わせ先																										
	s e																									3
のパーワが表示されました																						1.3	-23	+	-	

図 3-3-1-1 VLAN 修正

表示の説明

VLAN ID	選択された VLAN の VLAN ID を表示します。

VLAN 名	任意の VLAN 名を入力します。
メンバーポート	VLAN のメンバーポートとする場合に選択します。
メンバー外	VLAN のメンバーポートとしない場合に選択します。
ポート	
キャンセル	変更されたポート選択が元に戻ります。

3.3.3. VLAN 作成

「拡張機能の設定」を選択し、「VLAN 設定」を選択し、「VLAN 作成」を選択すると図 3-3-2 になります。この画面では設定された VLAN の作成を行います。

Switch N24PWR Ethernet Swit	ich - Microsoft Inter	net I	Explo	or er																					
G #5 · O · 🖹 🖬 🐔	,D MR 1 BRICK	n (8.	Ŧa		3	8	• 1	2	12	•	5													
7円3ス型 創http://19216811./home.asp	2																				1	*	154	1 1	50.0
 基本情報 ボートステータス トラフィックグラフ 	VLAN# R	1																							
□ トラフィックログ	VLANID:	1	1	2-4	094	0																			
■ メールレポート設定 ■ 41間設定	VLANS:	X	R						(3	妏	刺	内)												
- 基本概能設定																									
N AND T	ポート番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22 2	3 2	4 25
VLANSH/RE	シンハーホート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00		00
VLANTUS	2277-24/0-1	. 0		۲	Θ	۲	0	۲	0	Θ	٢	۳	۲	۲	۲	۳	0	0	0	C	0		00	0 0	0.0
DiffServitiz																							NE	4	ヤンセノ
QoSBR																									
Port Security																									
トランク調査																									
■ 米ートモニタリング設定																									
• RSTP設定																									
IGMP Snooping202 PoF202																									
- ジステム管理ツール																									
日本間い合わせ先																									
e :	s c																								5
0																						123	-7.71		

図 3-3-2 VLAN 作成

VLAN ID	作成する VLAN ID を入力してください。
VLAN 名	作成する VLAN 名を入力してください。
メンバーポート	VLAN のメンバーポートとする場合に選択します。
メンバー外	VLAN のメンバーポートとしない場合に選択します。
ポート	
キャンセル	変更されたポート選択が元に戻ります。

3.3.4. VLAN ポート設定

「拡張機能の設定」を選択し、「VLAN 設定」を選択し、「VLAN ポート設定」を選択すると 図 3-3-3 になります。この画面では設定された VLAN のポート設定を行います。

マイルシ 編集の 表示(の お外に入り(の)	9-16 C 1.6789							
3 RD + 🕥 · 🖻 🖻 🐔 🔎	株業 🐈 おちに入り 💣 メディア 🎸	ð 🙆 😓 🖾 ·	· 🖸					
EL2(0) @http://19216811/home.asp				M 🛃 8540 (V.)				
· 8+1616								
■ ポートステータス	VLAN术一F波定							
□ トラフィックグラフ	and an							
E19249205	ポート番号 1 2 3 4 5 6 7	8 9 101112131	14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 2	526				
「メールレポート設定	0000000	000000	000000000000000000000000000000000000000	第7全 男数 7全 🗌				
- C-GROA	PVID (1-4094)		受信フレームタイプ					
A REAL PROPERTY.			Tagged Only	「設定」				
VI AND B / WT				Concerned of the second				
VLANDIS	H-LHR	DMD		874				
VLANK-FERE		1	Admit A	1				
DiffServiltie	2	Admit A	1					
QoSiRin	3	1	Admit A	1				
Port Security	4	1	1 Admit All					
■ トランク放定	5	1	Admit A	1				
こ ストームコントロール設定	6	6 1 Adm						
□ ポートモニタリング設定	7	1	Admit A	1				
• RSTPIRE	8	1	Admit A	1				
IGMP SnoopingRit	9	1	Admit A	1				
P Pot Bit	10	1	Admit A	1				
システムを増ソール	11	1	Admit A	1				
D REFERENCE OF COLOR	12	1	Admit A	1				
	13	- 1	Admit A	1				
	14	1	Admit A	1				
	15	1	Admit A	1				
	16	1	Admit A					
	17	1	Admit A					
the second s	18	1	Admit A					
			A deput 6					

図 3-3-3 VLAN ポート設定

表示の説明

ポート番号	ポート番号を表示します。						
PVID	ポートの PVIC	ポートの PVID(ポート毎の VLAN の ID)を表示します。(出荷時:全ポート 1)					
受信フレーム	受信フレームの	受信フレームのタイプを表示します。					
タイプ	Admit All	全てのフレームを受信します。(出荷時)					
	Tagged	タグ付フレームのみ受信します。					
	Only						

ポート番号	対象のポート都	番号をチェックしてください。						
	全て選択ボタン	全て選択ボタンをクリックすると全ポートが選択、全て解除ボタンをクリックすると全						
	ポートが解除る	ポートが解除されます。						
PVID	PVID(Port VLAN ID)を表示します。PVID はタグなしのパケットを受信した場合							
	どの VLAN ID に送信するかを表します。出荷時は 1 に設定されています。							
	タグつきのパケットを受信した場合は VLAN タグを参照し、送信先のポートを決定しま							
	す。							
受信フレーム	受信フレームの	Dタイプを表示します。						
タイプ	Admit All	全てのフレームを受信します。(出荷時)						
	Tagged	タグ付フレームのみ受信します。						
	Only							

3.3.5. Diffserv の設定(クラスの設定)

「拡張機能の設定」を選択し、「Diffserv 設定」を選択し、「クラス設定」を選択すると図 3-3-4 になります。この画面では Diffserv のクラス設定を行います。



図 3-3-4 クラス設定

表示の説明

登録数	作成されているクラスの数を表示します。
クラスのインデックス	クラスのインデックス番号を表示します。
送信元 MAC アドレス	クラスの送信元 MAC アドレスを表示します。
宛先 MAC アドレス	クラスの宛先 MAC アドレスを表示します。
VLAN ID	クラスの VLAN ID を表示します。
送信元 IP アドレス	送信元 IP アドレスを表示します。
宛先 IP アドレス	宛先 IP アドレスを表示します。
DSCP	優先度情報 DSCP(Diffserv Code Point)値を表示します。
Protocol	プロトコル番号を表示します。
Scr L4 Port	L4 の送信元のポート番号を表示します。
Dst L4 Port	L4 の宛先のポート番号を表示します。
次ページ	次ページボタンをクリックすると、次ページに移ります。
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。

クラスのインデックス	クラスのインデックス番号を入力してください。
	インデックス番号は入力しなければ、クラスを作成することはできません。
送信元 MAC アドレス	対象とする送信元 MAC アドレスを入力してください。
宛先 MAC アドレス	対象とする宛先 MAC アドレスを入力してください。
VLAN ID	対象とする VLAN ID を入力してください。
送信元 IP アドレス	対象とする送信元 IP アドレスを入力してください。
宛先 IP アドレス	対象とする宛先 IP アドレスを入力してください。
DSCP	対象とする DSCP 値を入力してください。
Protocol	対象とするプロトコル番号を入力してください。
Scr L4 Port	対象とする L4 の送信元のポート番号を入力してください。
Dst L4 Port	対象とする L4 の宛先のポート番号を入力してください。

3.3.6. Diffserv の設定(インプロファイルアクションの設定)

「拡張機能の設定」を選択し、「Diffserv 設定」を選択し、「インプロファイルアクションの 設定」を選択すると図 3-3-5 になります。この画面では Diffserv のインプロファイルの設定 を行います。



図 3-3-5 インプロファイルアクション設定

表示の説明

登録数	作成されている	作成されているインプロファイルの数を表示します。						
インデックス	インプロファイ	インプロファイルのインデックス番号を表示します。						
アクション	クラスによって指定されたフレームに対するアクションを表示します。							
	破棄	フレームを破棄します。						
	DSCP 値に	DSCP 値を付加(マーキング)します。						
	変換							
	Precedence	Precedence 値を付加(マーキング) します。						
	値に変換							
	CoS 値に	CoS 値を付加(マーキング) します。						
	変換							
值	DSCP 値、Pre	ecedence 値、CoS 値の値を表示します。						
次ページ	次ページボタン	いをクリックすると、次ページに移ります。						
前ページ	前ページボタン	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。						

インデックス	インプロファイルのインデックス番号を入力してください。							
アクション	クラスによって	よって指定されたフレームに対するアクションを設定します。						
	破棄	フレームを破棄します。						
	DSCP 値に	DSCP 値を付加(マーキング)します。						
	変換							
	Precedence	Precedence 値を付加(マーキング) します。						
	値に変換							
	CoS 値に	CoS 値を付加(マーキング) します。						
	変換							
値	DSCP 値、Precedence 値、CoS 値の値を入力します。							

3.3.7. Diffserv の設定(アウトプロファイルアクションの設定)

「拡張機能の設定」を選択し、「Diffserv 設定」を選択し、「アウトプロファイルアクションの設定」を選択すると図 3-3-6 になります。この画面では Diffserv のアウトプロファイルの設定を行います。

※アウトプロファイルの設定は DIffserv 設定に必須ではありませんので、必要に応じて設定してください。



図 3-3-6 アウトプロファイルアクション設定

表示の説明

登録数	作成されている	アウトプロファイルの数を表示します。				
インデックス	アウトプロファ	イルのインデックス番号を表示します。				
保障レート	インプロファイ	ルで処理を行う最大レートを表示します。				
	このレートを超えたフレームをアウトプロファイルにて処理します。					
	1Mbps/unit	1Mbps 単位です。				
	8Mbps/unit	8Mbps で1単位です。(例:800Mbps → 100)				
バーストサイズ	フレームをバッ	ファに蓄積できる最大のサイズを示します。				
	バーストサイズ	は 4K、8K、16K、32K、64K から選択します。				
	(M12G	I6K、20K、32K、44K、76K、140K、268K、524K)				
アクション	クラスによって	指定され、かつ保証レートを超えたフレームに対するアクションを表示				
	します。					
	破棄	フレームを破棄します。				
	DSCP 値に	DSCP 値を付加(マーキング)します。				
	変換					
値	DSCP 値を表示	します。				
次ページ	次ページボタン	をクリックすると、次ページに移ります。				
前ページ	前ページボタン	をクリックすると、前ページに移ります。				

インデックス	アウトプロファ	イルのインデックス番号を指定します。
保障レート	インプロファイ	ルで処理を行う最大レートを指定します。
	このレートを超	えたフレームをアウトプロファイルにて処理します。
	1Mbps/unit	1Mbps 単位で指定します。
	8Mbps/unit	8Mbps を 1 単位として指定します。 (例: 800Mbps → 100)
バーストサイズ	フレームをバッ	ファに蓄積できる最大のサイズを指定します。
	バーストサイズ	`は 4K、8K、16K、32K、64K から選択します。
	(M12G のみ	16К、20К、32К、44К、76К、140К、268К、524К)
アクション	クラスによって	指定されたフレームにインプロファイルで賄いきれなかったフレーム
	のアクションを	行います。
	破棄	フレームを破棄します。
	DSCP 値に	DSCP 値を付加(マーキング)します。
	変換	
値	DSCP 値を指定	します。

3.3.8. Diffserv の設定(ノーマッチアクションの設定)

「拡張機能の設定」を選択し、「Diffserv 設定」を選択し、「ノーマッチアクション設定」を 選択すると図 3-3-7 になります。この画面では Diffserv のノーマッチアクションの設定を行 います。

※ノーマッチアクションの設定は Dlffserv 設定に必須ではありませんので、必要に応じて設 定してください。



図 3-3-7 ノーマッチアクション設定

表示の説明

登録数	作成されている	るノーマッチアクションの数を表示します。				
インデックス	ノーマッチアク	フションのインデックス番号を表示します。				
アクション	クラスによって指定されなかったフレームに対するアクションを表示します。					
	破棄	フレームを破棄します。				
	DSCP 値に	DSCP 値を付加(マーキング)します。				
	変換					
	Precedence	Precedence 値を付加(マーキング) します。				
	値に変換					
	CoS 値に	CoS 値を付加(マーキング) します。				
	変換					
値	各値を表示しる	ます。				
次ページ	次ページボタン	ンをクリックすると、次ページに移ります。				
前ページ	前ページボタン	いをクリックすると、前ページに移ります。				

インデックス	ノーマッチアクションのインデックス番号を入力し、設定ボタンをクリックしてくたい。 い。インデックスを入力しなければノーマッチアクションを作成することはできま					
	ho					
アクション	クラスによって指定されなかったフレームにアクションを行います。					
	破棄	フレームを破棄します。				
	DSCP 値に	DSCP 値を付加(マーキング)します。				
	変換					
	Precedence	Precedence 値を付加(マーキング) します。				
	値に変換					
	CoS 値に	CoS 値を付加(マーキング) します。				
	変換					
値	DSCP 値、Pre	ecedence 値、CoS 値の値を入力します。				

3.3.9. Diffserv の設定(ポートリストの設定)

「拡張機能の設定」を選択し、「Diffserv設定」を選択し、「ポートリスト設定」を選択すると図 3-3-8 になります。この画面では Diffservのポートリストの設定を行います。



図 3-3-8 ポートリストの設定

表示の説明

登録数	作成されているポートリストの数を表示します。
インデックス	ポートリストのインデックス番号を表示します。
ポートリスト	ポリシーの適用対象とするポートのリストを表示します。
次ページ	次ページボタンをクリックすると、次ページに移ります。
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。

インデックス	ポートリストのインデックス番号を指定します。
ポートリスト	ポリシーの適用対象とするポートのリストを指定します。

3.3.10. Diffserv の設定(ポリシーの設定)

「拡張機能の設定」を選択し、「Diffserv 設定」を選択し、「ポリシーの設定」を選択すると 図 3-3-9 になります。この画面では Diffserv のポリシーの設定を行います。

Switch-N24PWR Ethernet S つい(島(F) 編集(E) 表示(A) お気	witch Micros	TD AL	ernet Explorer						
() Ro · () · R 2 /) _O ## -	17.8%	(3.7) AT 15-17	0 0.8	8.1	-			1001
7FV2(1) http://19216811/home	asp	(a. (a) ***						N E	1545 95-5
● 基本価額 ^ ■ ポートステータス	ポリシー設定								
トラフィックグラフ トラフィックログ	ポリシーのインデックス				(1-65535	5)			
メールレポート設定	クラスのイン	デック	ス		(1-65535	5)			
马田田王 苏本提始的定	シーケンス	新号(g	1.理关系(本)(表)(系)		(1-65535	51			
	1/107	11.7	ケノコンのイノデ	-172	(1.65534	3			
YLANDE	1-7-5-7	here	10 C 15 107	E	14 05505				
DiffServilki	2-4971	111			11-00000	1			
277ARE	775703	711	77717047	r97X	(1-65535	0)			
701-303-447	ポートリスト	のイン	デックス		(1-65535	5)			
ノーマッチアクション語				19:2					
ポートリスト設定									
■ ポリシー、シーケンス	登球奴 1			1					
QoSIRE	インテックス	252	シーケンス番号	プロファイル	ノーマッチ	アワトフロファイル	ボートリスト	状態	
rt Security ンク設定 ームコントロール設定	1	1	100	1	-		1	⊛Enable ⊙Disable	<u>1935</u> / <u>1938</u>
ポートモニタリング設定								(次ページ)	前ページ
RSTPRE ICMP Secondarity									
OLINE									
テム管理ワール									
あい合わせ先 ッ									

図 3-3-9 ポリシーの設定

表示の説明

登録数	作成されてい	いるポリシーの数を表示します。				
インデックス	ポリシーの・	インデックス番号を表示します。				
クラス	クラスで設定	定したインデックス番号を表示します。				
シーケンス番号	ポリシーが複数ある場合の適用順を表示します。					
	値の大きいものからポリシーが適用されます。					
インプロファイル	インプロファ	ァイルで設定したインデックス番号を表示します。				
ノーマッチ	ノーマッチス	アクションで設定したインデックス番号を表示します。				
アウトプロファイル	アウトプロフ	ファイルで設定したインデックス番号を表示します。				
ポートリスト	ポートリス	> で設定したインデックス番号を表示します。				
状態	ポリシーのキ	犬態を表示します。				
	Enable	ポリシーが有効です。設定を変更する場合は無効にする必要があります。				
	Disable	ポリシーが無効です。				
次ページ	次ページボタ	タンをクリックすると、次ページに移ります。				
前ページ	前ページボタ	タンをクリックすると、前ページに移ります。				

ポリシーの	ポリシーの	のインデックス番号を入力してください。			
インデックス(必須)					
クラスの	クラスで語	<u> 安定したインデックス番号を入力してください。</u>			
インデックス(必須)					
シーケンス番号(必須)	シーケンス番号を入力してください。				
	ポリシーオ	が複数有る場合は、値の大きいものから優先して適用されます。			
インプロファイルアク	インプロフ	ファイルアクションで作成したインデックス番号を入力してください。			
ションのインデックス					
(必須)					
ノーマッチアクション	ノーマッチアクションで作成したインデックス番号を入力してください。				
のインデックス					
アウトプロファイルの	アウトプロファイルで作成したインデックス番号を入力してください。				
インデックス					
ポートリストの	アウトプロ	コファイルで作成したインデックス番号を入力してください。			
インデックス(必須)					
状態	ポリシーの	の状態を指定します。			
	Enable	ポリシーを有効にします。			
	Disable	ポリシーを無効にします。			

3.3.11. Diffserv の設定(ポリシー、シーケンス番号表示)

「拡張機能の設定」を選択し、「Diffserv 設定」を選択し、「ポリシー、シーケンス番号表示」 を選択すると図 3-3-10 になります。この画面では Diffserv のポリシー、シーケンス番号の 表示をします。



図 3-3-10 ポリシー、シーケンス番号表示

表示の説明

ポート番号	ポリシー、シーケンス番号の順に表示します。			
	ポリシーの	ポリシーインデックス順にシーケンス番号を表示します。		
	インデックス順表示			
	シーケンス番号順表示	シーケンス番号順にポリシーインデックスを表示します。		

3.3.12. QoS 設定

「拡張機能の設定」を選択し、「QoS 設定」を選択すると図 3-3-11 になります。この画面では QoS の設定を行います。

1									-	-
/) http://130254.180.19/home.asp									M	2 1540
本価期 ートステータス	QoS 設定									
コイッククラフ シフィックログ	キューの クラス									
ールレポート設定	QoSの有効無効: Diab	led 🕑								
100 E	ブライオリティルキューマッピ	20:								-
ACCES	ブライオリティ	0	1.4	2	3	4	5	6	7	182
VLANERE	1	10.00	10.00	11.000	1.00	10.001	10.00	10.00	10.44	
DiffServille	The second second	0.4	0.4	1.00	1.0	14.00	15.00	0.4	3	
 ポートリスト設定 ポリシー設定 ポリシー、シーケンス番号表示 										

図 3-3-11 QoS 設定

QoS の有効/無効	IEEE802.1p を用	いた QoS の状態を指定します。		
	Enabled	QoS が有効です。		
	Disabled	QoS が無効です。(出荷時)		
プライオリティ/	VLAN タグ内のプライオリティ値に対する優先度設定を行います。			
キューマッピング	プライオリティ VLAN タグ内のプライオリティ値です。			
	キュー	プライオリティ値に対応させる優先度を指定します。		
	大きな値が指定されたキューが優先して処理されます。			
		(M12G : 0~7、M12X/M24HiPWR : 0~3)		

3.3.13. RADIUS 設定

「拡張機能の設定」を選択し、「Port Security」を選択し、「RADIUS 設定」を選択すると図 3-3-12 になります。この画面では RADIUS 設定を行います。

つか(たび) 編集(5) 表示(5) お気に入れら	A) 77-8(T) A 5700						
77110日 - 11111 日本1111111111111111111111111111			(8)-112 (8)				
					RADUS 定定 サーバやアドレス シェアーギシークレット: 応告時間 最大再送回数	192]1980 [194] 192]1980 [194] 10 [16 (1-120) 2 (1-254) 正正	
				のようの結果深水的時にあ	0		▲ 1.4-2+1

図 3-3-12 RADIUS の設定

サーバ IP アドレス	RADIUS サーバの IP アドレスを表示します。(出荷時:0.0.0.0)
シェアード	RADIUS 認証の際に用いる共通鍵(シェアードシークレット)を表示します。
シークレット	RADIUS サーバ側と本装置とで同じ値に設定をする必要があります。
応答時間	RADIUS サーバへの認証要求に対する最大待機時間を表示します。(出荷時:10 秒)
最大再送回数	RADIUS サーバへの認証要求が再送される回数を表示します。(出荷時:3回)

3.3.14. IEEE802.1X 設定

「拡張機能の設定」を選択し、「Port Security」を選択し、「802.1x 設定」を選択すると図 3-3-13 になります。この画面では IEEE802.1X 認証の設定を行います。

Switch-M24PWR Ethernet Switch	h - Nicrosoft Internet Explorer	- 24
771.00 MAG #010 890.00	100 7-100 AU709	
🔾 🔁 🕤 💭 - 🛃 🕄 🖓	P ## 🙀 BBUCAD 🔮 5547 🙆 🔂 · 실	
7F12(2) 110216811/home.asp	💌 🛃 1540 yu.g. 🎽	
	802.1%展光 NASID (15文字比约) Heat 第一十選択 1 W 展開 初期附出 Yes W 展刊	
OffServidia OptServidia OptServidia OptServidia OptServidia OptServidia PADIUSER PADIUSER PD2258 PD2258 Zとームコンドロール設定 の オームコンドロール設定		1 Authorized Force Authorized
 キャーモーシンク300 キャーモーシ	通常ボートの割固方向; 管理者ボートの割固方向 器証失的時後時間(1-65535) 認証の再送信器大問題(-165535) サブリアントのタイムアジト(1-85335)	Both 00-th ∞ 00 ¥9 00 ¥9
	サーバの54ムアウト(1-65355) 再認証の最大要求回致(1-10): 定期的再記証の此代間構(1-6535): 定期的再記証のれ代間構(1-6535): 定期的再記証の有効集功	00 FD 2 2000 FD Duated 4
・	201 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	● 化力-ネット

図 3-3-13 IEEE802.1X 認証の設定
NAS ID	本装置の NAS ID を指定します。(出荷時:Nas1)		
ポート選択	設定対象のポートの番号を選択します。		
初期化	選択されたポートに対する認証を初期化します。		
	Yes	認証の初期化を行います。	
	No	認証の初期化を行いません。	
再認証の実行	+		
	Yes	再認証を行います。	
	No	再認証を行いません。	
ポート番号	選択されたポートの設定	定を表示します。	
ポート状態	ポートの認証状況を表現	示します。	
	Unauthorized	認証が許可されておらず通信不可な状態です。	
	Authorized	認証が許可され、通信可能な状態です。(出荷時)	
ポート動作設定	選択されたポートのIE	EE802.1X 認証動作を指定します。	
	Auto	IEEE802.1X 認証が有効です。	
	Force-unauthorized	全ての通信を破棄します。	
	Force-authorized	全ての通信を許可します。(出荷時)	
通常ポートの			
制御方向	Both	送信・受信 双方の通信を破棄します。(出荷時)	
	In	本装置へ受信される通信のみを破棄します。	
管理者ポートの	ポートの認証が許可され	れていない時に制限する通信方向を指定します。	
制御方向	Both 送信・受信 双方の通信を破棄します。(出荷時)		
	In	本装置へ受信される通信のみを破棄します。	
認証失敗時の	認証が失敗した際、次の認証要求を行うまでの時間を指定します。(出荷時:60 秒)		
待機時間			
認証の再送信	RADIUS サーバへの認証要求を再送するまでの間隔を指定します。(出荷時:30 秒)		
要求間隔			
サプリカントの	サプリカントのタイムアウト時間を指定します。(出荷時:30秒)		
タイムアウト			
サーバの	RADIUS サーバのタイ	ムアウト時間を指定します。(出荷時:30 秒)	
タイムアウト			
再認証の	再送信試行回数を指定し	します。(出荷時:2 回)	
最大要求回数			
定期的再認証の	再認証間隔を指定します	す。(出荷時:3600 秒)	
試行間隔			
定期的再認証	再認証の状態を表します	す。 	
の有効/無効	Enabled	定期的に再認証を行います。	
	Disabled	定期的に再認証を行いません。(出荷時)	

3.3.15. トランク設定

「拡張機能の設定」を選択し、「トランク設定」を選択すると図 3-3-14 になります。この画面ではトランク設定を行います。

ファ(たぶ) 編集(5) 表示(1) お気に入り	140 9-800 A5700	
Om · O · D 0 0	One where a stor of the B to - B	
7F12/0 ahttp://19216811/home.asp		- El 1540 10-0 *
 8本価額 ポートステータス トラフィックグラフ トラフィックログ メールルボート設定 トランボックログ 	トランク設定 LACPシステムプライオリティ:(0~65535)	[〕】
 ● 本本教会決定 ● 私気機会決定 ● VLAN設定 ● DiffServill定 	グループ設定 グループキー: [0-65535) 別作モード (Manual) ※	
QoS記定 Sport Security RADIUS設定 D02.1383定 F52/28定 ストームコンドロール設定 ポートモニタリング設定 F571設定 F571設定 F571設定	グループズバー 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 	16 17 18 19 20
 □ ● Pot設定 □ システム管理ワール ■ お同い合わせえ 	LACPジステムブライオリティ 1 キー 動作モード メンバーボートリスト データない	tzok
<	» «	

図 3-3-14 トランク設定

表示の説明

LACP システム	LACP を用いてトランクを構成する際に必要な本装置の優先順位です。			
プライオリティ	数値が小さいほど優先順位が高くなります。(出荷時:1)			
グループキー	トランクのグループ	プキーを表示します。		
動作モード	トランクの動作モードを表示します。			
	Active	LACP フレームを送出し、動的にトランクを構成します。		
		対向の動作モードは Active または Passive にする必要があります。		
	Passive	対向からの LACP パケットを受信してトランクを構成します。		
	対向の動作モードは Active である必要があります。			
	Manual LACPを利用せず、静的にトランクを構成します。			
		対向の動作モードも同様に Manual にする必要があります。		
メンバー	トランクに属しているポートを表示します。			
ポートリスト				
セット	修正ボタンをクリックすると設定変更が可能です(次ページ)			
ポート	ポートプライオリ	ティ設定の画面(3.3.15 項)に移ります。		
プライオリティ				

LACP システム	LACP を用いてトランクを構成する際に必要な本装置の優先順位を指定します。		
プライオリティ	数値が小さいほど優先順位が高くなります。(出荷時:1)		
グループキー	トランクのグループキーを指定してください。		
動作モード	トランクの動作モードを指定します。		
	Active	LACP フレームを送出し、動的にトランクを構成します。	
		対向の動作モードは Active または Passive にする必要があります。	
	Passive	対向からの LACP パケットを受信してトランクを構成します。	
		対向の動作モードは Active である必要があります。	
	Manual	LACP を利用せず、静的にトランクを構成します。	
		対向の動作モードも同様に Manual にする必要があります。	
グループ	グループの対象とす	するポートを選択します。	
メンバー			



図 3-3-14-1 トランクの修正

設定の説明

動作モード	トランクの動作モードを指定します。		
	Active	LACP フレームを送出し、動的にトランクを構成します。	
		対向の動作モードは Active または Passive にする必要があります。	
	Passive	対向からの LACP パケットを受信してトランクを構成します。	
		対向の動作モードは Active である必要があります。	
	Manual	LACP を利用せず、静的にトランクを構成します。	
		対向の動作モードも同様に Manual にする必要があります。	
グループ	グループの対象とするポートを選択します。		
メンバー	グループを削除する場合は、全てのポートのチェックを外してください。		

3.3.16. ポートプライオリティ設定

「拡張機能の設定」を選択し、「トランク設定」を選択し、ポートプライオリティボタンをクリックすると図 3-3-15 になります。この画面ではポートプライオリティの設定を行います。

and an and a state of the state of the			💌 🛃 840 (12-19)
 基本価額 ポートステータス 	ポートプライオリティ	設定	
 トラフィックワラフ トラフィックログ メールレポート設定 時間設定 基本都能設定 本本都能設定 	ポート番号 (1-26) ポートプライオリティ (0-25	1 (1-26) 5) 1 (0-255) 102	
VLANDE Diffservice	LACPシステムプライオリラ システム D	P.K.	10 00:c0:8f 0e 95:92
Qosikie	ポート番号	プライオリティ	
Port Security	1	1	
002.1x82	2	1	
■トランク決定	3	1	
- ストームコントロール設定 - ポートモーダロッグ設定	-4	1	
RSTPERE	5	1	
• IGMP Snooping設定	6	1	
Poligiz	7	1. C	
「お問い合わせた	8	1	
	9	1	

図 3-3-15 ポートプライオリティの設定

表示の説明

LACP	LACP を用いてトランクを構成する際に必要な本装置の優先順位を指定します。
システム	数値が小さいほど優先順位が高くなります。(出荷時:1)
プライオリティ	
システム ID	LACP を用いてトランクを構成する際に必要な本装置の ID です。
	本装置の MAC アドレスが割り当てられており変更はできません。
ポート番号	本装置のポート番号を表示します。
ポート	LACP 利用時のトランクポート選択用優先順位です。 数字が小さいほど優先順位が高く
プライオリティ	なります。 グループへ 9 ポート以上を設定した際に利用されます。(出荷時:1)
次ページ	次ページボタンをクリックすると、次ページに移ります。
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。

ポート番号	対象とするポート番号を指定します。
プライオリティ	LACP 利用時のトランクポート選択用優先順位です。 数字が小さいほど優先順位が高く
	なります。 グループへ 9 ポート以上を設定した際に利用されます。(出荷時:1)

3.3.17. ストームコントロール設定

「拡張機能の設定」を選択し、「ストームコントロール設定」を選択し、ポートプライオリティボタンをクリックすると図 3-3-16 になります。この画面ではストームコントロール設定を行います。



図 3-3-16 ストームコントロールの設定

表示の説明

Unknown	Unknown ユニキャストに対するストームコントロールの状態を表示します。		
ユニキャスト	(出荷時: Disabled)		
	Enabled	Unknown ユニキャストのストームコントロールが有効です。	
	Disabled	Unknown ユニキャストのストームコントロールが無効です。	
ブロード	ブロードキャストに対するのストームコントロールの状態を表示します。		
キャスト	(出荷時: Disabled)		
	Enabled	ブロードキャストのストームコントロールが有効です。	
	Disabled	ブロードキャストのストームコントロールが無効です。	
マルチ	マルチキャストに対するストームコントロールの状態を表示します。(出荷時: Disable		
キャスト	Enabled	マルチキャストのストームコントロールが有効です。	
	Disabled	マルチキャストのストームコントロールが無効です。	
しきい値	ストームコントロールの制御を行うパケット数を表示します。		

ポート番号	ストームコントロールの対象とするポートを選択します。(M12Gのみ)		
Unknown	Unknown ユニキャストのストームコントロールの状態を設定します。		
ユニキャスト	Enabled	Unknown ユニキャストのストームコントロールが有効です。	
	Disabled	Unknown ユニキャストのストームコントロールが無効です。(出荷時)	
ブロード	ブロードキャストのストームコントロールの状態を設定します。		
キャスト	Enabled	ブロードキャストのストームコントロールが有効です。	
	Disabled	ブロードキャストのストームコントロールが無効です。(出荷時)	
マルチ	マルチキャストのストームコントロールの状態を設定します。		
キャスト	Enabled	マルチキャストのストームコントロールが有効です。	
	Disabled	マルチキャストのストームコントロールが無効です。(出荷時)	
しきい値	ストームコン	>ロールの制御を行うパケット数を設定します。	

3.3.18. ポートモニタリング設定

「拡張機能の設定」を選択し、「ポートモニタリング設定」を選択すると図 3-3-17 になります。この画面ではポートモニタリング設定を行います。

Switch-M24PWR Ethernet Switch	- Nicrosoft Intern	et Explorer				
77イル(日 編集(日) 表示(2) お気に入り(4	9 7-AD AR78	9				
🔾 🟠 - 🙄 - 💽 🖻 🏠 🔎)株本 📩 8500入り) 🕐 59 47 🥝	🔒 🔮 📓 •			
7112.00 (http://130.254.100.19/home.asp						FAIN 1920
- 8+16H	ボートモニ	タリング設定	·			
■ ポートステータス						
► F57499957	and the	モニタするボート	モニタされるボート	方向	状態	144
	477972		dia di seconda di	エークオスカウスの日日、アノビカット	10.45	通用
NAMES I		nc-p	10-10	C-S FORMER BROCKESS	2.2	00000
基本概能決定		1 1	2 M	2211 2	Disabled V	TKE
- ERGERS						
QoSIR2						
Qosta						
Port Security						
T 7h - (T AFD - 6 MP						
ポートモニタリング講家						
RSTPRE						
E _ IGMP SnoopingBRE						
• Pofikii						
・」システム管理ツール						
□お問い合わせ先						
	-					
C 1						

図 3-3-17 ポートモニタリングの設定

モニタするポート	モニタで取得したパケットの送信先ポート番号を表示します。(出荷時:1)		
モニタされる	モニタされるポートのポート番号を表します。(出荷時:2)		
ポート			
方向	モニタを行う通信方向を表示します。		
	送信	送信パケットをモニタします。	
	受信	受信パケットをモニタします。	
	送受信	送受信パケットともにモニタします。(出荷時)	
状態変更	ポートモニタリングの状態を表示します。		
	Enabled	ポートモニタリングが有効です。	
	Disabled	ポートモニタリングが無効です。(出荷時)	

3.3.19. RSTP グローバル設定

「拡張機能の設定」を選択し、「RSTP 設定」を選択し、「RSTP グローバル設定」すると、図 3-3-18 になります。この画面で RSTP グローバル設定を行います。



図 3-3-18 RSTP の設定

設定の説明

グローバル RSTP	スパニングツリーの動作状態を設定します。			
状態	Enabled	スパニングツリーが有効です。		
	Disabled	スパニングツリーが無効です。(出荷時)		
プロトコル	スパニングツリーのバージョンを設定します。			
バージョン	RSTP	IEEE802.1w 準拠のラピッドスパニングツリープロトコルで		
		動作します。(出荷時)		
	STP-Compatible	IEEE802.1D 互換のスパニングツリープロトコルで動作しま		
		す。		

ご注意: RSTP状態をEnabledにすると一時的に応答が停止しますのでご注意ください。

3.3.20. RSTP パラメータ設定

「拡張機能の設定」を選択し、「RSTP 設定」を選択し、「RSTP パラメータ設定」すると、図 3-3-19 になります。この画面で RSTP パラメータ設定を行います。

つか(6/5) 編集(5) 未売(6) お気(3/6)	A) 7-50 A5700			
(3 R5 · (2) · 🖹 🗟 🐔 🕽	0 HR + + 8500 AD # 5547 6	Q. 3 18 .		
PEL2(0) (1/19216811/home.ssp		P. 9		- E3 840 95-0 *
 基本情報 ポートステータス トラフィックグラフ 	RSTPパラメータ設定			
F5749205	RSTP48.	無効 🖌 減用		
- メールレポート設定	STPを有効にすると一時的に通信	がままります。		
	II and the Mark MA	0	トポロジー本面からの時間	0.50
P VLANERE	1	0	いたのないの事例数	0
Diffserville	II. sets	0000.000000000	IONO ACCENT	
Port Security	100-041	216		
トランク放定	ALL STAN	2 f2		
ストームコントロール設定	REATERING.	2049		
■ ポートモニタリング設定	フォワード X単2回時間(1)	1549		
STPECE	-10 Inclination -7	0000 00000000	1000	
RSTP/15x-982	プロルジョブランクサリアン	0+ 000 0000000	1000	
- ペーシックボート設定	The Guine Arts	01 0000		
□ アドバンスドボート設定	5.955-TAL-5414	2 49		
	ブリッジ・最大存在時間	20 19		
Pot Si2	ブリッジ・フォワード遅延時間	15 利分		
ショシステム管理ワール		(RE)		
こお問い合わせ先		Gill		
	×			
Http://192168.11/MstpCcfg.asp				● インターネット

図 3-3-19 RSTP パラメータの設定

表示の説明

ルートポート番号	現在のルートポートを表示します。
ルートパスコスト	ルートポートからルートブリッジへのコストを表示します。
トポロジー変更の時	スパニングツリーの構成が変更されてからの経過時間(秒)を表示します。
間	
トポロジー変更回数	スパニングツリーの構成変更を行った回数を表示します。
ルート	ルートブリッジのブリッジ ID を表示します。
ハロータイム	スパニングツリーの構成を確認するためのルートブリッジとのアクセス間隔を表
	示示します。
最大存在時間	ハローメッセージのタイムアウト時間を表示します。
フォワード遅延時間	「Listening」から「Learning」、または「Learning」から「Forwarding」のように、ス
	パニングツリーの状態遷移の時間を表示します。

設定の説明

RSTP 状態	スパニング	ブツリーの動作状態を表示します。				
	有効	スパニングツリーが有効です。				
	無効	スパニングツリーが無効です。(出荷時)				
ブリッジ ID アドレス	本装置のこ	ブリッジIDを表示します。ブリッジIDはブリッジプライオリティとMAC				
	アドレスで	で構成されます。				
ブリッジ	本装置のこ	本装置のブリッジプライオリティを設定します。(出荷時:0x8000)				
プライオリティ						
ブリッジ	ハローメ	ッセージの送信間隔を設定します。(出荷時:2 秒)				
ハロータイム						
最大存在時間	ハローメ	ッセージのタイムアウト時間を設定します。 (出荷時:20 秒)				
フォワード遅延時間	「Listening」から「Learning」、または「Learning」から「Forwarding」のように、ス					
	パニング	ソリーの状態遷移時間を設定します。				
	(出荷時:1	5秒)				

ご注意: RSTP状態を有効にすると、一時的に応答が停止しますのでご注意ください。

3.3.21. ベーシックポート設定

「拡張機能の設定」を選択し、「RSTP 設定」を選択し、「ベーシックポート設定」を選択すると、図 3-3-20 になります。この画面でベーシックポート設定を行います。

71112 (a) http://19216811/home.asp								M 🔁 840
	&-inst	di-ha	e sr					
157499957	Torre Torre							
トラフィックロダ	ポート番号 1 2	3 4 5	678	9 10 11 12 1	3 14 15 16 1	71819202122	23 24 25 26	
- メールレポート設定		1000		10000	00000	00000	0000	(梁沢) (宋)
L'ACTERS	フライオリ	ティ	1	(スコスト (0-目)	敷除失出)	STPL	大馬田	
D VLANERE	120		200	1000 [0: for a	auto detecte	d) 🔲 Ensk	led 🕶	設定
• DiffServille								
Qosine Good Councilla	ポート番号	トランク	リンク	状態	ロール	プライオリティ	パスコスト	STP状態
トランク決定	1	1	Down	Forwarding	Disabled	128	200000 (Auto	Enabled
ストームコントロール設定	2	1	Down	Forwarding	Disabled	128	200000 (Auto	Enabled
□ ポートモニタリング設定	3	1	Down	Forwarding	Disabled	128	200000 (Auto	Enabled
RSTPIRE	4		Down	Forwarding	Disabled	128	200000 (Auto	Enabled
RSTP/(5x-322	5		Down	Forwarding	Disabled	128	200000 (Auto	Enabled
- ペーシックボート講定	6		Down	Forwarding	Disabled	128	200000 (Auto	Enabled
□ アドバンスドボート設定	7	2	Down	Fotwarding	Disabled	128	200000 (Auto	Enabled
	8		Down	Forwarding	Disabled	128	200000 (Auto	Enabled
· Pot Big			Down	Forwarding	Disabled	128	200000 (Auto	Enabled
システム管理シール	10		Down	Econversion	Diesklad	120	2000000 (Auto	Enablad
こも同い合わせ先	11	-	Down	Ecoversion	Disabled	120	200000 (Auto	Enabled
	12		Dawn	Converting	Dicabled	120	200000 (Auto	Enabled
	12		Dave	Forwarding	Dischlad	120	200000 (Auto	Enabled
	13		Down	Forwarding	Disabled	120	200000 (Auto	Erisbied
	14		DOWD	Forwarding	Deidbard	128	200000 (Auto	Eugona

図 3-3-20 ベーシックポート設定

表示の説明

ポート番号	ポート番号を	表します。
トランク	トランキング	が設定されている場合、トランクのグループ番号(key)を表示します。
リンク	リンクの状態を	を表します。
	UP	リンクが正常に確立している状態です。
	DOWN	リンクが確立されていない状態です。
状態	現在のポートの	の状態を表示します。
	Forwarding	通信が転送されている状態を表します。
	Discarding	通信が遮断されている状態を表します。
	Listening	BPDU を受信し、ルートブリッジ、ルートポート、代表ポートの決定を
		行っている状態を表します。
	Learning	スパニングツリーの構築を行っている状態を表します。
	Blocking	ネットワーク上のループを防ぐため、ポートを通信できないようにして
		いる状態を表します。
ロール	スパニングツ!	リーにおけるポートの役割を表します。
	Designated	代表ポートとして動作中です。
	Root	ルートポートとして動作中です。
	Alternate	オルタネイト(ブロッキング)ポートとして動作中です。
	Backup	バックアップポートとして動作中です。
	Disabled	STP が動作していません。
プライオリティ	本装置内での	各ポートの優先順位を表します。数値が高いほど優先順位が高くなりま
	す。出荷時は	全ポート 128 に設定されています。
パスコスト	各ポートのコン	ストを表します。
	出荷時の値は	それぞれ 10/100M ポートは 200000、1000M ポートは 20000 です。
STP 状態	各ポートのスパ	パニングツリーの有効/無効を表示します。
1		
	Enabled	スパニングツリーが有効です。

ポート番号	設定対象のポート番号を選択してください。				
プライオリティ	チェックボックスにチェックをし、プライオリティ値を入力してください。				
	数値が高いほど	ど優先順位が高くなります。(出荷時: 128)(16 の倍数で指定します)			
パスコスト	チェックボックスにチェックをし、コスト値を入力してください。				
	(出荷時: 10/100M ポート=200000、1000M ポート=20000)				
STP 状態	チェックボックスにチェックをし、ポートごとのスパニングツリーの状態を選択してく				
	ださい。				
	Enabled スパニングツリーが有効です。				
	Disabled	スパニングツリーが無効です。			

3.3.22. アドバンスポート設定

「拡張機能の設定」を選択し、「RSTP 設定」を選択し、「アドバンスポート設定」を選択すると、図 3-3-21 になります。この画面でアドバンスポート設定を行います。

PFL200 ADdate //20224811 Acres and								ET State
- 8×48								
#-+27-92	アドバンスドポート設定							
□トラフィックグラフ								
15749205	ボート番号 12	3 4 5	678	9 10111213	14 15 16 17	18 19 20 21 22 2	3242526	1997
		1000	000	00000	0000			選択しまて
	Territe	-6	Dia	D-H-h				
	設定内	181	197	2/1大和3				
C VLANERE	TT True		El Ado M		[12:12]			
Doster					(1111)			
D _ Port Security						エッジボート	P to Ptt-h	
■ トランク議定	ボート番号	トランク	1522	北西	0-n	設定的大規則	1992月末期	模知時課
マストームコントロール設定	1	1	Down	Forwarding	Disabled	False / False	Auto / False	Init.
RSTPRE	2	1	Down	Forwarding	Disabled	False / False	Auto / False	Init.
RSTP90-RMBE	3	1	Down	Forwarding	Disabled	False / False	Auto / False	init.
RSTPパラメータ設定	4		Down	Forwarding	Disabled	False / False	Auto / False	Init
マモルシックホート調定	5		Down	Forwarding	Disabled	False / False	Auto / False	Init
1+*112-181	6		Down	Forwarding	Disabled	False / False	Auto / False	Init
• _ IGMP SnoopingIRE	7		Down	Forwarding	Disabled	Faise / Faise	Auto / False	Init
• Politik	8		Down	Forwarding	Disabled	False / False	Auto / False	Init
ションステム管理ワール	0		Down	Forwarding	Disabled	False / False	Auto / Ealco	Init
	10	-	Down	Forwarding	Disabled	False / False	Auto / False	init.
	10		Down	Enwarding	Dicabled	Ealco / Ealco	Auto / Ealco	init.
	12		Down	Ecowarding	Disabled	Ealso (Ealso	Auto / Ealso	init.
	12		Covers	Formarung	Clashind	False / False	Auto / False	

図 3-3-21 アドバンスポート設定

表示の説明

ポート	ポート番号を表し	します。			
トランク	トランキングが話	役定されている場合、トランクのグループ番号(key)を表示します。			
リンク	リンクの状態を表	長します。			
	UP	リンクが正常に確立している状態です。			
	DOWN	リンクが確立されていない状態です。			
状態	現在のポートの物	犬態を表します。			
	Forwarding	通信が転送されている状態を表します。			
	Discarding	通信が遮断されている状態を表します。			
	Listening	BPDU を受信し、ルートブリッジ、ルートポート、代表ポートの決定			
		を行っている状態を表します。			
	Learning	スパニングツリーの構築を行っている状態を表します。			
	Blocking	ネットワーク上のループを防ぐため、ポートを通信できないようにし			
		ている状態を表します。			
ロール	スパニングツリ-	ーにおけるポートの役割を表します。			
	Designated	代表ポートとして動作中です。			
	Root	ルートポートとして動作中です。			
	Alternate	オルタネイトポートとして動作中です。			
	Backup	バックアップポートとして動作中です。			
	Disabled	STP が動作していません。			
エッジポート	リンクアップ後	プ後 Discarding に移行せず、即座に Forwarding に移行させるエッジポー			
設定/状態	トの設定を表示し	します。前半は設定した値、後半は実際の状態を表します。			
	True	エッジポートに設定されています。			
	False	エッジポートに設定されていません。。			
PtoP ポート	本装置がハブ等な	を経由せず直接接続されている PtoP ポートかどうかの設定を表示しま			
設定/状態	す。前半は設定し	した値、後半は実際の状態を表します。			
	Auto	ポートの状態により自動認識します。			
	True	P-to-P 接続として設定されています。			
	False	P-to-P 接続として設定されていません。			
検知結果	現在のスパニング	ブツリーの動作状況を表します。			
	STP	STP として動作中です。			
	RSTP	RSTPとして動作中です。			
	Init.	検知中、またはスパニングツリーが動作していません。			

設定ボタン

ポート番号	設定対象のポート番号をチェックしてください。			
エッジポート	エッジポートを設定します。			
設定/状態	True	エッジポートに設定します。		
	False	エッジポートに設定しません。		
PtoP ポート	PtoP ポートを設定します。			
設定/状態	Auto	ポートの状態により自動認識します。		
	True	P-to-P 接続に設定します。		
	False	P-to-P 接続に設定しません。		
隣接スイッチの	STPの再検知を行います。			
STP 再検知				

3.3.23. トポロジー情報

「拡張機能の設定」を選択し、「RSTP 設定」を選択し、「トポロジー情報」を選択すると、 図 3-3-22 になります。この画面でトポロジー情報の参照を行います。

ポート番号 1 2 3 4 5 6	トランク 	Up Up Down Up	デザイン・ルート 0000 00000000000 0000 000000000000 0000 000000	デザイン・コスト 0 0	デザイン・プリッジ 0000 00000000000 0000 000000000000	741 (
1 2 3 4 5 6		Up Down Up		0	0000 0000000000000000000000000000000000	0
2 3 4 5 6		Down Up	0000 0000000000000000000000000000000000	0	000000000000000000000000000000000000000	0
3 4 5 6		Up	0000 00000000000000	122		
4 5 6				0	0000 0000000000000000000000000000000000	0
5		Down	0000 0000000000000000000000000000000000	0	0000 0000000000000000000000000000000000	C
6		Down	0000 00000000000000000	0	0000 0000000000000000000000000000000000	0
	1.440	Down	0000 00000000000000000	0	0000 0000000000000000000000000000000000	0
7		Down	0000 0000000000000000000000000000000000	0	0000 0000000000000000000000000000000000	C
8		Down	000000000000000000000000000000000000000	0	0000 0000000000000000000000000000000000	0
9		Down	0000 0000000000000000000000000000000000	0	0000 0000000000000000000000000000000000	0
10		Down	0000 00000000000000000	0	0000 0000000000000000000000000000000000	0
11		Down	0000 00000000000000000	0	0000 0000000000000000000000000000000000	0
12		Down	0000 00000000000000000	0	0000 0000000000000000000000000000000000	0
	8 9 10 11 12	8 9 10 11 12	8 Down 9 Down 10 Down 11 Down 12 Down	8 Down 0000 00000000000 9 Down 0000 00000000000 10 Down 0000 00000000000 11 Down 0000 00000000000 12 Down 0000 00000000000	8 Down 0000 0000000000 0 9 Down 0000 0000000000 0 10 Down 0000 0000000000 0 11 Down 0000 0000000000 0 12 Down 0000 0000000000 0	8 Down 0000 0000000000 0 0000 0000000000 0 0000 00000000000 0 0000 00000000000 0 0000 000000000000 0 0000 000000000000 0 0000 000000000000 0 0000 00000000000 11 Down 0000 0000000000 0 0000 0000000000 12 Down 0000 0000000000 0 0000 0000000000 0 0000 0000000000 0 0000 0000000000 0 0000 0000000000 0 0000 00000000000 0 0000 0000000000000000 0 0000 00000000000000 0 0000 00000000000000000000000000000000

図 3-3-22 トポロジー情報

表示の説明

ポート番号	ポート番号を表します。				
トランク	トランキングが設定されている場合、トランクのグループ番号(key)を表示しま				
	」す。				
リンク	リンク状態を表します。				
	UP	リンクが正常に確立している状態です。			
	DOWN リンクが確立されていない状態です。				
デザイン・ルート	ルートブリッジの ID を表します。				
デザイン・コスト	パスコストを表します。				
デザイン・ブリッジ	ブリッジ ID を表します。				
デザイン・ポート	代表ポートを表し	<i>、</i> ます。			

3.3.24. IGMP Snooping 設定

「拡張機能の設定」を選択し、「IGMP Snooping 設定」を選択し、さらに「IGMP Snooping 設定」を選択すると、図 3-3-23 になります。この画面で IGMP Snooping の設定を行いま す。

》 ● ● SF-F ④ DODPINg 設定 DingitAlls	8-3 B	1- 🖵	v 🛃 Sen	92-0 ×
pingtt图			M 🛃 840	920 ×
ping状態				
ロージングタイム: エージングタイム の待税時間 グループMA	Daaked ♥ (130 125 秒 (60-6 5 秒 (0-25) 開催 27ドレス	を至 -1225) 00) グループズハイー	(387-9) 1 187-9	-
	エージングタイム・ の待聴時間 グループMAA	エージングタイム (注) 持 (60-6) の時間時間。 多 時 (0-2) 度変 グループMACアドレス	エージングタイム (18)時(60:00) の時期時間 E 時(60:00) の時期時間 E 時(625) 更更 グループメンバー	エージングタイム (13) [19 (00-000) の時間時間 (13) [19 (00-000) の時間時間 (13) [19 (00-000) (13) [19] (13) [

図 3-3-23 IGMP Snoopingの設定

表示の説明

VLAN ID	マルチキャストグループの VLAN ID を表します。
グループ MAC アドレス	マルチキャストグループの MAC アドレスを表します。
グループメンバー	マルチキャストグループに属しているポートを表します。

IGMP Snooping 状態	IGMP Snooping 機能の設定を行います。			
	Enabled	IGMP Snooping 機能が有効です。		
	Disabled	IGMP Snooping 機能が無効です。(出荷時)		
ホストポート	マルチキャン	マルチキャストグループからメンバーを脱退させるまでの時間を設定し		
エージングタイム	ます。 (出荷時:260 秒)			
ルータポート	ルータポート	~を開放するまでの時間を表します。(出荷時:125 秒)		
エージングタイム				
Proxy レポートの待機時間	IGMP Report 送信するまでの待機時間を設定します。(出荷時:5 秒)			
次ページ	次ページボタンをクリックすると、次ページに移ります。			
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。			

3.3.25. VLAN フィルタ設定

「拡張機能の設定」を選択し、「IGMP Snooping 設定」を選択し、さらに「VLAN フィル タ設定」を選択すると、図 3-3-24 になります。この画面で IGMP Snooping の VLAN フィ ルタ設定を行います。



図 3-3-24 VLAN フィルタの設定

表示の説明

VLAN ID	VLAN ID を表示します。			
状態	VLANフィル	VLAN フィルタの状態を表示します。		
	Filtered	指定された VLAN が IGMP snooping の対象から除外されています。		

VLAN ID	VLAN フィルタの対象とする VLAN ID を指定します。			
状態	VLAN フィノ	- VLAN フィルタの設定をします。		
	Filtered	iltered VLAN フィルタを有効にします。		
	Not	Not VLAN フィルタを解除します。		
	filtered			
次ページ	次ページボタンをクリックすると、次ページに移ります。			
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。			

3.3.26. ルータポートテーブルの参照

「拡張機能の設定」を選択し、「IGMP Snooping 設定」を選択し、さらに「ルータポートテ ーブル」を選択すると、図 3-3-25 になります。この画面で IGMP Snooping のルータポー トテーブルの参照を行います。



図 3-3-25 ルータポートテーブル参照

表示の説明

VLAN ID	VLAN ID を表示します。
ポートリスト	ルータポートテーブルにあるポートリストを表示します。
次ページ	次ページボタンをクリックすると、次ページに移ります。
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。

3.3.27. PoE ポート設定(M24HiPWR のみ)

「拡張機能の設定」を選択し、「PoE ポート設定」を選択すると、図 3-3-26 になります。この画面で PoE ポートの設定を行います。

(F) ((1)(F))	表示(A) 2-7	u: 3.0(A) *	-BCD 05700	-	and the				
			- de sarcho	-	000	D. 00			
		n ha	# Manual	0.1	11 0 B.	GR 94 - 1			
🕼 🕘 http://1	1921681.1/hom	. A1D							M 🔁 移動 🧐
8+14	Poet	-1.95-0							
ドートステー	FUE	-rax A							
574920	ボート福日	6 1 2	3456	7 8	9 10 11 12 1	3 14 15 16 17	18 19 20 21 22 23 2	4	
*-1.1.#-			0000		00000	0000	0000000	(金に成訳)	全て新聞
中國政定						Post State State State			
基本概念設计		合電機論の	对大部门		結電の優先度		最大供給電力(mW)		
VLANERS		🔲 Up	*		Critical 💌				政定
DiffServ	注意:供	合電力の影	お定範囲(#300	0-2008	OmWCT.				
QoSIRE									
Port Sec	ポート職号	給電設定	給電状態	252	給電の優先度	最大供給電力	(mW) 供給電力 (mW)供給電圧(V)	供給電流 (m/
ストームニ	1	Up	Not Powered		Low	15400	0	0	0
K-+==	2	Up	Not Powered		Low	15400	0	0	0
TPBE	3	Up	Not Powered		Low	15400	0	0	0
MP SE	4	Up	Not Powered		Low	15400	0	0	0
VLAN	5	Up	Not Powered		Low	15400	0	0	0
ルータ	6	Up	Not Powered		Low	15400	0	0	0
CIPSE	7	Up	Not Powered		Low	15400	0	0	0
Pote	8	Un	Not Powered		Low	15400	0	0	0
484	9	Up	Not Powered		Low	15400	0	0	0
50H	10	Lin	Not Powered		Low	15400	0	0	0
	11	Un	Not Downed		Low	15400	0	0	0
	+3	Up	Not Downed		Low	15400	0	0	0
	14	Up	Not Demoted		Low	15400	0	0	0
	10	Up	Not Powered		LOW	15400	0	0	0
			COMPANY AND ADDRESS OF THE OWNER.			15,0101			

図 3-3-26 PoE ポートの設定

表示の説明

ポート番号	ポート番号を表します。				
給電設定	給電の可否を表示します。				
	Up	給電が有効です。			
	Down	給電が無効です。			
給電状態	給電の状態を表	表示します。			
	Powered	給電中であることを表します。			
	Not	給電されていないことを表します。			
	Powered				
	Overload	最大供給電力を超える給電要求があったため、給電を停止しています。			
クラス	給電クラスを表示しています。				
給電の優先度	給電の優先度を表示します。				
	Crit.	優先度が最高であることを表します。			
	High	優先度が高であることを表します。			
	Low	優先度が低であることを表します。			
最大供給電力	供給電力の上限を表示します。				
供給電力	現在の供給電力を表示します。				
供給電圧	現在の供給電圧を表示します。				
供給電流	現在の供給電流を表示します。				

ポート番号	設定対象のポート番号を指定します。		
給電機能の	給電の可否を設定します。		
状態	Up	給電が有効です。	
	Down	給電が無効です。	
給電の優先度	給電の優先度を設定します。		
	Crit.	優先度が最高であることを表します。	
	High	優先度が高であることを表します。	
	Low	優先度が低であることを表します。	
最大供給電力	供給電力の上限を設定します。		

3.3.28. PoE 条件設定(M24HiPWR のみ)

「拡張機能の設定」を選択し、「PoE 条件設定」を選択すると、図 3-3-27 になります。この 画面で PoE 条件設定を行います。



図 3-3-27 PoE 条件設定

表示の説明

最大供給電力	本装置の最大供給電力を表示します。
現在の供給電力	現在の供給電力を表示します。

最大電力供給	給電が最大供給電力を超えた場合の給電動作を設定します。			
時の動作設定	新しく接続されたポートに	新しく接続されたポートへの給電を行いません。		
	給電しない	(出荷時)		
	優先度の低いポートへの	優先度の低いポートへの給電を停止します。		
	給電を停止する	優先度が同列の場合はポート番号が一番大きいポート		
		が選択されます。		
トラップ送信	PoE トラップを送信するため(の供給電力のしきい値を設定します。(出荷時:50%)		
のしきい値				

3.4. システム管理ツール

3.4.1. ソフトウェアアップグレード

「システム管理ツール」を選択し、「ソフトウェアアップグレード」を選択すると、**図 3-4-1-1** になります。この画面でソフトウェアアップグレードを行います。



図 3-4-1-1 ソフトウェアアップグレード

ご注意: ソフトウェアアップグレードを行う前に、必ず3.4.3項の設定情報の保存を行ってください。保存を行わない場合、それまでに設定した内容が再起動時に消去されます。

表示の説明

現在の	現在のソフトウェアのラインタイムコードのバージョンを表示します。
バージョン	
設定の説明	
TFTP サーバの	TFTP サーバの IP アドレスを入力してください。
IP アドレス	
ソフトウェア	TFTP サーバに保存されているソフトウェアのファイル名を入力してください。
ファイル名	



図 3-4-1-2 ソフトウェアアップグレード(ダウンロード中)

ソフトウェアアップグレードのダウンロード中は**図 3-4-1-2** のようになります。 ダウンロードを中止させたい場合は、ダウンロード中止ボタンをクリックしてください。



図 3-4-1-3 ソフトウェアアップグレード(再起動中)

ソフトウェアアップグレードの再起動中は図 3-4-1-3 のようになります。

ご注意:別途TFTPサーバを動作させる必要があります。

3.4.2. 再起動

「システム管理ツール」を選択し、「再起動」を選択すると、図 3-4-2 になります。この画面 で再起動を行います。

	Switch-M24PWR Ethernet S	witch - Nicrosoft Internet	Explorer		E 18 🛛
	ファイル(日 編集(日) 表示(1) お気	二入り後) 7-1-10 ヘルプロ			27
PP2-22 (1) Up (7) 279 210 1 / Apr 22 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	🔾 🕫 • 🔘 • 💽 🖻 🦿	🏠 🔎 株業 🐈 おちしこ入り	8 59-07 😧 B- 🍃	🔯 • 🛄	
● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point ● Point	PEL2(0) () http://19216811/home	aip			M 🛃 846 9545 *
	*-トステータス トラフィックグラフ	再起题			
● ●●● ●●● ● ●● ●● ● ●● ●● ● ○● ● ● ○ ● ● ○ ● ● ○ ● ● ● ● ● <	 トラフィックログ メールレポート設定 	再起動方法	Normal	~	
 ソントウエアマップリレー Aをお助 第二日 加速 第二日 カンド ジステムなど 第二日 カンド 第二日 カンド 					
□ (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	 ソフトウエアアップグレ 内応動 設定価格の採存 ボートカウンタ ジステムログ 				
	■読定ファイル保存/読 ■お問い合わせ先 ・				

図 3-4-2 再起動設定

再起動方法	再起動の方法を選択し	してください。(出荷時:Normal)
	Normal	通常の再起動をします。
	Factory Default	全ての設定を消去し、工場出荷時に戻します。
	Factory Default	IP アドレスの設定以外を工場出荷時に戻します。
	Except IP	

3.4.3. 設定情報の保存

「システム管理ツール」を選択し、「設定情報の保存」を選択すると、図 3-4-3-1 になります。 この画面で設定情報の保存を行います。



図 3-4-3-1 設定情報の保存

設定保存をクリックすると本装置に設定した内容を内蔵のメモリへ保存します。 この操作を行わない場合、それまでに設定した内容が再起動時に消去されます。



図 3-4-3-2 設定情報の保存後

設定が完了すると、図 3-4-3-2 のように「設定の保存に成功しました。」というメッセージが 表示されます。

ご注意: 設定保存の際、一時的に応答が停止します。

3.4.4. ポートカウンタの参照

「システム管理ツール」を選択し、「ポートカウンタ」を選択すると、図 3-4-4-1 になります。 この画面でポートカウンタの参照を行います。

Switch Azerwik Ethernet Switch	Alerosoft leternet Explorer			
MINE MAD BODD DALA	10 9-10 NA/10	-1		**
C 🗷 · C) · 💌 🖻 🞧 ,	○秋常 ************************************	🖌 🗟 🖓 🕲	· 🗾	
7112/01 ahts://19216811/home.asp				💌 🛃 1946 - 12-12 **
*-127-92	H I dida h			
● トラフィックグラフ	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~			
1-5749205				
- X-NUK-FIRE	ホート 福号選択 IPS ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL AL			
- 本理的法定	移動時からの経過時間07:47:29 更新			
	カウンタリセット 9セットから 有	「動間局から		
U VLANERE				
DiffServille	カウンタ名/ボート番号 1	下一夕儿	平均/秒	
QoSEE	Total RX Bytes	0	0	
D Port Security トランク設定	Total RX Pkts	0	0	
コストームコントロール目	Good Broadcast	0	0	
「ポートモニタリング設定	Good Multicast	0	0	
D RSTPERE	CRC/Allen Errore	0	0	
IGMP SnoopingER	Crecinaign Errors	0	0	
VLAN248-200	Undersize Pikts	Ų	0	
■ ルータポートテーブ;	Oversize Pkts	0	0	
D S Politik	Fragments	0	0	
■ PoE#-+設定	Jabbers	0	0	
Pot Attac	Collisions	0	0	
- ソフトウエアアップグレ	64-Byte Pkts	0	0	
Piacah	65-127 Pkts	0	0	
□設定情報の保存	120.255 Pkte	0	0	
- ボートカウンタ	255 514 Dite	0	0	
BE Triber /	200-011 PKIS	0	0	
「お問い合わせ先」	512-1023 PKts	U	Ų	
e 3	1024-1518 Pkts	0	0	

図 3-4-4-1 ポートカウンタの参照

表示の説明

カウンタ名/ポート	各カウンタの名前とポート番号を表示します。各カウンタ名をクリックすると、
番号	図 3-4-4-2 になります。各カウンタの全ポートのトータルと平均(秒)が表示され
	ます。
トータル	カウンタの値を表示します。
平均/秒	カウンタの値を一秒間の平均値で表示します。
稼動時からの	起動からの経過時間を表示します。
経過時間	

ポート番号選択	カウンタを表示したいポート番号を選択します。
カウンタリセット	全てのカウンタの値を0にします。
リセットから	カウンタリセットを行ってからのカウンタ値を表示します。
稼動開始から	稼働開始からのカウンタ値を表示します。

カウンタの内容は下記のとおりです。

Total RX Bytes	受信した全てのパケットのバイト数を表示します。
Total RX Pkts	受信した全てのパケット数を表示します。
Good Broadcast	受信したブロードキャストのパケット数を表示します。
Good Multicast	受信したマルチキャストのパケット数を表示します。
CRC/Align	正常なパケット長(64~1518 バイト)、かつ誤り検出符号(FCS)で誤りが発見さ
Errors	れたエラーパケット数を表示します。
	このうち、パケット長が1バイトの整数倍のものはCRC(FCS)エラー、そうで
	ないものはアラインメントエラーに分類されます。
Undersize Pkts	パケット長が 64 バイトより短いパケット数を表示します。
Oversize Pkts	パケット長が 1518 バイトより長いパケット数を表示します。
Fragments	パケット長が 64 バイトより短く、かつ CRC エラーまたはアラインメントエラー
	を起こしているパケット数を表示します。
Jabbers	パケット長が 1518 バイトより長く、かつ CRC エラーまたはアラインメントエラ
	ーを起こしているパケット数を表示します。
Collisions	コリジョンが発生した回数を表示します。
64-Byte Pkts	パケット長が 64 バイトのパケットの総数を表示します。
65-127 Pkts	パケット長が 65~127 バイトのパケットの総数を表示します。
128-255 Pkts	パケット長が 128~255 バイトのパケットの総数を表示します。
256-511 Pkts	パケット長が 256~511 バイトのパケットの総数を表示します。
512-1023 Pkts	パケット長が 512~1023 バイトのパケットの総数を表示します。
1024-1518 Pkts	パケット長が 1024~1518 バイトのパケットの総数を表示します。

カウンタ名/ポート番号で、各カウンタ名をクリックすると、図 **3-4-4-2** になります。各カウンタ 内のポート毎のトータル値と平均(秒)が表示されます。



図 3-4-4-2 カウンタ別の値の参照

表示の説明

稼動時間	起動してからの経過時間を意味します。
トータル	カウンタに累積された値を表示します。
平均/秒	一秒間の平均値を表示します。

雨新 日新のカウンタ表示に再新します。		
	新	に更新します。

3.4.5. システムログの参照

「システム管理ツール」を選択し、「システムログの参照」を選択すると、図 3-4-5 になります。この画面では本装置に発生したイベントの履歴を表示します。これらを参照することにより、 ネットワークの管理に利用することができます。

つか(んぶ) 編集(5) 表示(10) お気(CAR(A) 7-8(D) A	5700	
Om · O · R R /	0 82 200	EAN MATOR O	
7FL200 Bhttp://20216811.0cm	A num M num		
- Normal A	1.7=1.04		
*->>	221442		
157492957	m Minowith	28.00	
	11.700 HZz -	[1422]	
A AVA TALL		Company and the second second	
ALC: NO.	雷吟	時間(年月月日時:分刊)	1025
NO DESCRIPTION	1	0000/00/00 00:00:17	Reboot Factory Default
UI AND	2	0000/00/00 00 03 50	Login from console
D Diffsonitist	3	0000/00/00 01:21:22	Login from console
Destric	4	0000/00/00 02:43:45	Login from console
Port Security	0	0000/00/00 21:56:05	Login from console
ロトランク講座	8	0000000000558	Login from console
コストームコントロール目	1	00000000013129	Login from console
ポートモニタリング決定	8	0000/00/00 05 10:25	Login from console
P RSTPRE		000000000555.11	Login from console
- GMP Snooping			
IGMP Snooping			2次ペーク 前ペーク
■ VLANフィルク設定			
□ ルータポートテープ;			
D S POERCE			
PoE#-+設定			
Pol & HBC			
シンステム管理ツール			
- ソフトウエアアップグレ			
THE M			
□ 読定情報の保存			
■ ポートカウンタ			
システムロダ			
■ 読定ファイル保存/読			
■お問い合わせ先 🗸			
¢ 3			
の かっつがあぶぶれきした			A 10-0-2-1

図 3-4-5 システムログの参照

この画面で表示される各イベントは、SNMPのトラップと連動しているものがあります。トラップを発生させるよう設定してある場合はイベントとして表示されます。トラップとの関係は次ページをご参照ください。

消去	現在のログのカウンタの値を全て消去します。
次ページ	次ページボタンをクリックすると、次ページに移ります。
前ページ	前ページボタンをクリックすると、前ページに移ります。

ログの内容は下記のとおりです。

番号	イベントの番号を表します。	
時間	イベントの発生した時刻を表示	示します。
	時刻設定がされていない場合は	は起動からの通算時間が表示されます。
1	スイッチに発生したイベントの	の内容を表示します。
べい	Login from console	コンソールポートからのログインがあったことを表します。
۲ ۲	Login from telnet,	Telnet でのログインがあったことを表します。
	XXX.XXX.XXX.XXX	
	Configuration changed	設定が変更されたことを表します。
	Runtime code changes	ファームウェアが変更されたことを表します。
	(Bridge)Topology Change	スパニングツリーのトポロジーが変更されたことを表します。
	Reboot: Normal	本装置が再起動を行ったことを表します。
	Reboot: Factory Default	本装置が工場出荷時設定に戻す再起動を行ったことを表します。
	Reboot: Factory Default	本装置が IP アドレス以外を工場出荷時設定に戻す再起動を行ったこ
	Except IP	とを表します。
	Reboot:Exception(0x <i>x</i> ,0x	例外が発生し、Exception Handlerの設定により再起動を行ったこと
	xxxxxx)	を表します。
	Not authorized!	SNMP による未登録マネージャからのアクセスがあったことを表し
	(IP: xxx.xxx.xxx)	ます。
	SNTP first up date to	SNTP による初回の時刻同期が実行されたことを表します。
	yyyy/mm/dd hh:mm:ss	
	Copied configuration 2	設定情報の破損により復元を行ったことを表します。
	to 1	
	Copied configuration 1	
	to 2	
	Reset configuration 1 & 2	
	to default	
	Copy configuration 2 to 1	設定情報の破損による復元が失敗したことを表します。
	Is falled	
	copy configuration 1 to 2	
	Save of configuration 1 is	
	failed	設定時報の休存に入放したことを扱うより。
	Save of configuration 2 is	
	failed	
	(TRAP)Port-xxLink-up	ポートがリンクアップしたことを表します。このイベントは
		Individual Trap が有効で、対象ポートが設定されているときに発生
	(TRAP)Port- <i>xx</i> Link-down	
		Individual Trap が有効で、対象ポートが設定されているときに発生
		します。
	(TRAP)Port-xx Power ON	
	notification	対象ホートにおいて給電か UN になったことを表します。
	(TRAP)Port-xx Power OFF	対色ポートにわいて公司が 〇〇 にかったことをまします
	notification	対象ホートにのいて結単か UFF になったことを衣します。
	(TRAP)Usage power is	PoE の供給電力がしきい値を超えたことを表します。
	above the threshold	

(TRAP)Usage power is	PoE の供給電力が閾値を超えた後にしきい値以下へ下がったことを
below the threshold	表します。
(TRAP)System	SNMP マネージャからの認証が失敗したことを表します。
authentication failure	
Tsk:" <i>xxxx</i> " P: <i>xxxxxxx</i> Pri: <i>xx</i>	例外発生時のシステム情報を表します。

ご注意:システムログは最大256件まで本装置のフラッシュメモリに保存されます。257件以降 のシステムログが発生すると一番古いログが消去され、新しく発生したシステムログが 上書き保存されます。

3.4.6. 設定ファイルの保存/読込

「システム管理ツール」を選択し、「設定ファイルの保存/読込」を選択すると、図 3-4-6 になります。この画面で設定ファイルの保存と読み込みを行います。



図 3-4-6 設定ファイルの保存/読込

設定の説明

TFTP サーバの	TFTP サーバの IP アドレスを入力してください。
IP アドレス	
ソフトウェア	TFTP サーバへ保存するファイル名を入力してください。
ファイル名	

設定情報を保存する場合は「サーバへの保存」、読み込む場合は「サーバからの読込」をクリック してください。

ご注意:別途TFTPサーバを動作させる必要があります。

付録A. 仕様

お使いの機種の仕様を確認するには、それぞれの機種に対応した『取扱説明書(メニ

ュー編)』をご参照ください。

付録B. Windowsハイパーターミナルによる

コンソールポート設定手順

WindowsがインストールされたPCと本装置をコンソールケーブルで接続し、以下の手順でハイ パーターミナルを起動します。

(Windows Vista以降では別途ターミナルエミュレータのインストールが必要です。)

- ① Windowsのタスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム(P)]→[アクセサリ] →[通信]→[ハイパーターミナル]を選択します。
- ② 「接続の設定」ウィンドウが現われますので、任意の名前(例えば Switch)を入力、アイコンを選択し、[OK]ボタンをクリックします。
- ③ 「電話番号」ウィンドウが現われますので、「接続方法」の欄のプルダウンメニューをクリックし、 "Com1" を選択後[OK]ボタンをクリックします。
 ただし、ここではコンソールケーブルが Com1 に接続されているものとします。
- ④「COM1 のプロパティ」というウィンドウ内の「ビット/秒(B)」の欄でプルダウンメニューを クリックし、 **"9600**" を選択します。
- ⑤ 「フロー制御(F)」の欄のプルダウンメニューをクリックし、"**なし**"を選択後[OK]ボタンを クリックします。
- ⑥ ハイパーターミナルのメインメニューの[ファイル(F)]をクリックし、[プロパティ(R)]を選択します。
- ⑦「<name>のプロパティ」(<name>は②で入力した名前)というウィンドウが現われます。
 そこで、ウィンドウ内上部にある"設定"をクリックして画面を切り替え、"エミュレーション(E)"の欄でプルダウンメニューをクリックするとリストが表示されますので、"VT100"
 を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
- ⑧ 取扱説明書の4章に従って本装置の設定を行います。
- ⑨ 設定が終了したらハイパーターミナルのメインメニューの[ファイル(F)]をクリックし、[ハイ パーターミナルの終了(X)]をクリックします。ターミナルを切断してもいいかどうかを聞い てきますので、[はい(Y)]ボタンをクリックします。そして、ハイパーターミナルの設定を保 存するかどうかを聞いてきますので、[はい(Y)]ボタンをクリックします。
- ① ハイパーターミナルのウィンドウに "<name>.ht" (<name>は②で入力した名前) という ファイルが作成されます。

次回からは "<name>.ht"をダブルクリックしてハイパーターミナルを起動し、⑧の操作を行えば本装置の設定が可能となります。

付録C. IPアドレス簡単設定機能について

IPアドレス簡単設定機能を使用する際の注意点について説明します。

【動作確認済ソフトウェア】

パナソニック株式会社製『IP簡単設定ソフトウェア』V3.01 / V4.00 / V4.24R00 パナソニックシステムネットワークス株式会社製『かんたん設定』Ver3.10R00 パナソニックESネットワークス株式会社製『ZEQUO assist』Ver.2.1.1.1

【設定可能項目】

- ・IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ ※DHCPを利用することが可能です。
- ・システム名
- ※パナソニックシステムネットワークス株式会社製ソフトウェアでのみ設定可能です。 ソフトウェア上では"カメラ名"と表示されます。
- ・本機能を利用して機器の設定を行った場合、Web Server Statusが自動的に有効(Enabled)
 になります。

【制限事項】

- ・セキュリティ確保のため、電源投入時より20分間のみ設定変更が可能です。
 ただし、IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/ユーザ名/パスワードの設定が工場出荷時状態の場合、時間の制限に関係なく設定が可能です。
 ※制限時間を過ぎても一覧には表示されますので、現在の設定を確認することができます。
- ・パナソニックシステムネットワークス株式会社製ソフトウェアの以下の機能は対応しており ませんので、使用することはできません。
 - "自動設定機能"
- ※ ネットワークカメラの商品情報は各メーカ様へご確認ください。
- ※ Switch-M12Gは対応しておりません。
故障かな?と思われたら

故障かと思われた場合は、まず下記の項目に従って確認を行ってください。

◆LED 表示関連

- ■電源 LED(POWER)が点灯しない場合
 - ●電源コードが外れていませんか?
 - → 電源コードが電源ポートにゆるみ等がないよう、確実に接続されているかを 確認してください。
- ■リンク/送受信 LED(LINK/ACT.)が点灯しない場合
 - ●ケーブルを該当するポートに正しく接続していますか?
 - ●該当するポートに接続している機器はそれぞれの規格に準拠していますか?
 - ●オートネゴシエーションで失敗している場合があります。
 - → 本装置のポート設定もしくは端末の設定を半二重に設定してみてください。
- ◆通信ができない場合
 - ■全てのポートが通信できない、または通信が遅い場合
 - ●機器の通信速度、通信モードが正しく設定されていますか?
 - → 通信モードを示す信号が適切に得られない場合は、半二重モードで動作します。 接続相手を半二重モードに切り替えてください。 接続対向機器を強制全二重に設定しないでください。
 - ●本装置を接続しているバックボーンネットワークの帯域使用率が高すぎませんか?
 → バックボーンネットワークから本装置を分離してみてください。
- ◆PoE 給電ができない場合(PoE 対応機種)
 - ■PoE 給電 LED(PoE)が点灯しない場合
 - ●ケーブルは適切なものを使用し、PoE 給電をサポートするポートに接続して いますか?
 - ●該当するポートに接続している PoE 対応機器は、IEEE802.3af 規格に準拠して いますか?

アフターサービスについて

1. 保証書について

保証書は本装置に付属の取扱説明書(紙面)についています。必ず保証書の『お買い上げ日、 販売店(会社名)』などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容を良 くお読みのうえ大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

『故障かな?と思われたら』に従って確認をしていただき、なお異常がある場合は次ページ の『便利メモ』をご活用のうえ、下記の内容とともにお買上げの販売店へご依頼ください。

- ◆品名 ◆品番
- ◆製品シリアル番号(製品に貼付されている11桁の英数字)
- ◆ファームウェアバージョン(個装箱に貼付されている"Ver."以下の番号)
- ◆異常の状況(できるだけ具体的にお伝えください)
- ●保証期間中は:

保証書の規定に従い修理をさせていただきます。

お買い上げの販売店まで製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは: 診断して修理できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。 お買い上げの販売店にご相談ください。

3. アフターサービス・商品に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店もしくは下記の連絡先にお問い合わせください。 パナソニックESネットワークス株式会社 TEL 03-6402-5301 / FAX 03-6402-5304

4. ご購入後の技術的なお問い合わせ

■ご購入後の技術的なお問い合わせはフリーダイヤルをご利用ください。 IP電話(050番号)からはご利用いただけません。お近くの弊社各営業部にお問い合わせください。

0120-312-712 受付 9:30~12:00/13:00~17:00 (土・日・祝日、および弊社休日を除く)

弊社ホームページによくあるご質問(FAQ)および設定例を掲載しておりますのでご活用ください。 ご不明点が解決できない場合は、ホームページのサポート内容をご確認の上、お問合せください。 URL:http://panasonic.co.jp/es/pesnw/support/index.html なお、ご購入前のお問い合わせは、弊社各営業部にお願いいたします。 URL:http://panasonic.co.jp/es/pesnw/resume/guideline/index.html

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年	В	Β	品名	Switch-M
				品番	PN
ファームウェア	Boot Code				
バージョン (※)	Runtime Code				
シリアル番号					
	(製品に貼付されている 11 桁の英数字)				
販売店名 または 販売会社名		Ē	電話()	
お客様 ご相談窓口		Ē	電話()	_

(※ 確認画面はメニュー編 4.5 項を参照)

© Panasonic Eco Solutions Networks Co., Ltd. 2012-2015

パナソニックESネットワークス株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目12番7号 住友東新橋ビル2号館4階

TEL 03-6402-5301 / FAX 03-6402-5304

URL: <u>http://panasonic.co.jp/es/pesnw/</u>